

# 令和6年度事業計画

## 〔芸術文化センターの管理・運営（概要）〕

### 1 芸術文化センター事業 — 開館20周年への助走 —

令和6年度は、次年度に迎える開館20周年への助走の年として、年末の佐渡裕芸術監督指揮による3日間のジルヴェスター・ガラ・コンサートをはじめ、特徴的な公演で魅力を発信する。

主催事業数は137事業204公演以上を予定しており、コロナ禍以前の令和元年度実績(133事業242公演)とほぼ同規模を見込んでいる。

#### (1) 佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ 歌劇「蝶々夫人」

令和6年7月12日から21日の日程で、兵庫発プロデュースオペラ19作目となる歌劇「蝶々夫人」を8公演上演する。

また、関連イベントとして、ハイライトコンサートを赤穂市、洲本市、養父市、福崎町、西脇市、三田市、小野市、丹波篠山市、明石市の県内9会場で9公演、芸術文化センターで2公演、ワンコイン・プレ・レクチャーを2公演実施する。

#### (2) 公演入場者数

主催公演入場者は、平成17年10月の開館以来、年間約50万人で推移していたところ、コロナ禍により令和2年度は90,664人まで減少したが、令和5年度は12月末までに342,553人(年間50万人ペース)まで回復し、累計で850万人が目前となっている。

#### (3) 新たな企画・舞台芸術の普及

令和4年度に開始した知的・発達障がい児(者)向けの社会包摂プログラムを令和6年度も引き続き開催する。また、2025大阪・関西万博を見据え、新企画として日本の詩をテーマにした自主制作演劇公演の創作、夜の音楽会を開催する。

### 2 兵庫芸術文化センター管弦楽団事業

楽団定期演奏会を、合計9事業27公演実施し、令和7年度のセンター開館(楽団設立)20周年に向け、記念碑的な大規模公演の企画を進める。

青少年芸術体験事業「わくわくオーケストラ教室」の参加者数は、コロナ禍以前の水準である48,000人を見込んでいる。

### 3 芸術文化センター広報・普及活動

#### (1) 広報・普及活動

情報誌「ひょうご舞台芸術」や会報誌のほか、各種SNSや動画配信等を活用した広報の展開を図り、先行予約会員数や券売率の増加をめざす。

#### (2) ひょうごプレミアム芸術デーの実施

令和5年8月に開催し延べ約2,800名の来場があったひょうごプレミアム芸術デーについては、令和6年度は、子どもたちの夏休み期間である7月27日(土)に、施設の無料開放や将来の舞台芸術ファンを開拓する催しを実施する。

### 4 施設の管理運営事業

#### (1) 貸館事業

貸館公演数は、令和5年度に300公演(R5.4~R6.1)まで回復し、コロナ禍以前の令和元年度の326公演も超える見込みである。令和6年度についても引き続き、舞台芸術の鑑賞、創作、発表など多彩な文化創造活動の拠点をめざす。

#### (2) 人材育成

芸術文化観光専門職大学の臨地実務実習生の受入れ(R4~)やトライやるウィークの受入れ等を引き続き実施し、アートマネジメントの将来を担う人材育成を図る。

## 【芸術文化センターの管理・運営（詳細）】

阪神・淡路大震災からの「心の復興、文化の復興」のシンボルとして、開館（H17年10月）以来18年間、年間約50万人の入場者を迎え、総入場者数は830万人を超えた。この間<sup>①</sup>県民（ファン）の熱い支持を得て<sup>②</sup>新たな試みにも挑戦し続け、<sup>③</sup>継続して好調さを維持しながら、<sup>④</sup>震災からの文化の復興の拠点となる本格的な舞台芸術専門劇場として創造的復興の具体的姿を発信してきた。

令和6年度においても、<sup>①</sup>県民の幅広い期待に応えるため、これまでの実績を踏まえた多彩で豊富なメニューを提供し、<sup>②</sup>人々が元気で輝き続ける劇場（みんなの広場）であり続けるとともに、<sup>③</sup>街のにぎわいを創出することにより、県民生活の質的向上・地域創生の一翼を担っていく。

そして令和7年の開館20周年、さらにその先においても活気ある劇場として、<sup>①</sup>安全・安心・快適のための基盤整備（ハード）をはじめ、<sup>②</sup>長期的な県収支フレーム（予算）をベースに継続的かつ十分な財源の確保、<sup>③</sup>選べる“楽しさ”の展開（ソフト）による「にぎわい」の安定・継続、<sup>④</sup>優れた人材の確保による運営体制を継続していく。

### 【事業展開の基本コンセプト】

- ①多彩な舞台芸術の『創造・発信』
- ②芸術性豊かなものから親近感に富むものまで『幅広いニーズ』に応える上演
- ③舞台芸術の『普及』・県民の創造活動の支援

## 1 芸術文化センター事業

### （1）佐渡芸術監督プロデュースオペラ・コンサート公演（KOBELCO 大ホール）

佐渡裕芸術監督ならではの企画による制作・上演。プロデュースオペラは全国的にも珍しい。全8回ロングラン公演を展開。幅広いオペラファンの獲得・定着をめざす。

演 目	公演年月日	出演者等
歌劇「蝶々夫人」 （新制作19作目） （全3幕／イタリア語上演・ 日本語字幕付き／新制作）  （公財）三菱UFJ信託芸術文化財団助成	6. 7. 12 ～7. 21 （8公演）	音楽：ジャコモ・プッチーニ 台本：ルイーダ・イッリカ、ジュゼッペ・ジャコーザ 指揮：佐渡裕 演出：栗山昌良 再演演出：飯塚励生 装置：石黒紀夫 照明：沢田祐二 衣裳：緒方規矩子 振付・所作：飛鳥左近 合唱指揮：矢澤定明 演出助手：橋詰陽子 舞台設計：荒田良 衣裳コーディネーター：林なつ子・小栗菜代子 舞台監督：幸泉浩司 プロデューサー：小栗哲家 出 演：（ダブルキャスト） 迫田美帆／高野百合絵、林美智子／清水華澄、ノーマン・レインハート／笛田博昭、エドワード・パークス／高田智宏、清原邦仁／高橋淳、晴雅彦／町英和、斉木健詞／伊藤貴之、キャロリン・スプルール（両組）、的場正剛／湯浅貴斗 管弦楽：兵庫芸術文化センター管弦楽団 合 唱：ひょうごプロデュースオペラ合唱団
		〔関連公演〕 3事業13公演 *「蝶々夫人」ハイライトコンサート～ええとこどり！ 県内9会場9公演（4/20 赤穂市、4/21 洲本市、4/27 養父市、4/28 福崎町、4/29 西脇市、5/3 三田市、5/5 小野市、5/11 丹波篠山市 5/12 明石市）、芸文センター（4/17、18）で実施（計10会場11公演） *ワンコイン・プレ・レクチャー（同日2回） 5/29（講師：中村敬一、ゲスト：晴雅彦） *前夜祭 7/11（高松公園）主催：西北活性化協議会

演 目	公演年月日	出演者等
ジルヴェスター・ガラ・コンサート 2024	6. 12. 29 ～31 (3公演)	指揮：佐渡裕 独奏：角野隼斗 管弦楽：兵庫芸術文化センター管弦楽団
合 計	2 事業	1 1 公演 (県内 1 3 公演)

※芸術文化センター管弦楽団演奏会は別記

(2) 他館との共同制作オペラ事業 (KOBELCO 大ホール)

演 目	公演年月日	出演者等
全国共同制作オペラ 2024 歌劇「ラ・ボエーム」 (全4幕／イタリア語上演・日本語 英語字幕付き／新制作)	6. 10. 12 (1公演)	音楽：ジャコモ・プッチーニ 台本：ジュゼッペ・ジャコーザ、ルイーダ・イッリカ 指揮：井上道義 演出：森山開次 出演：高橋絵理、工藤和真、イローナ・レヴォルスカヤ、池内響、ヴィタリ・ユシュマノフ、晴雅彦、仲田尋一、谷口耕平ほか 管弦楽：兵庫芸術文化センター管弦楽団 合唱：ひょうごプロデュースオペラ合唱団ほか (東京芸術劇場・名取市文化会館・ロームシアター京都・熊本県立劇場・金沢歌劇座・ミューザ川崎シンフォニーホールとの共同制作)
合 計	1 事業	1 公演

(3) 他館との連携による自主制作オペラ事業 (阪急中ホール)

演 目	公演年月日	出演者等
バロック・オペラ・エボリューション 2025 濱田芳通&アントネッロの「オルフェオ」全5幕 (新制作／イタリア語上演・日本語字幕)	7. 2. 15 ～16 (2公演)	音楽：クラウドディオ・モンテヴェルディ 台本：アレッサンドロ・ストリッツョ 指揮：濱田芳通 演出：中村敬一 出演・管弦楽：アントネッロ (アントネッロ・神奈川県立音楽堂との共同制作) 〔関連公演〕 *ワンコイン・プレ・レクチャー (2公演) 10/30 (お話：濱田芳通、中村敬一)
合 計	2 事業	4 公演

(4) 独自の自主企画・プロデュースによる公演／兵庫県ゆかりの古典芸能 (阪急中ホール)

芸文センター独自に企画・制作し上演する良質で多彩な演目により新たなファンも発掘

演 目	公演年月日	出演者等
自主制作公演 自主制作演劇公演 (日本の詩をテーマ)	6. 12. 7 (1公演)	作・演出：土田英生

演 目		公演年月日	出演者等
河内特別 参加企画 古典芸能	文楽 in Hyogo<豊竹若太夫襲名披露公演>『平家女護島 鬼界が島の段』	6. 6. 29 (1公演)	出演：豊竹若太夫、鶴澤清介、吉田和生、河内厚郎 ほか
	劇場へ行こう～躍動する古典芸能の世界～ (神戸女学院小ホール)	7. 2. 1 (1公演)	出演：桂吉坊、桂福丸、豊竹若太夫、河内厚郎 ほか
子ども向け公演	春爛漫 茂山狂言会 みんなで楽しく狂言会	6. 4. 20 (1公演)	出演：茂山千五郎 ほか
	宮川彬良&アンサンブル・ベガ こどもの日スペシャル (KOBELCO 大ホール)	6. 5. 5 (1公演)	出演：宮川彬良&アンサンブル・ベガ
	中川賢一のピアノ・パーク！ (神戸女学院小ホール)	6. 8. 3 (2公演) ※内1公演は一般向け	ピアノ：中川賢一 ほか
	中川英二郎ディクシー・ワンダーランド (神戸女学院小ホール)	6. 12. 7 (2公演) ※内1公演は一般向け	トロンボーン：中川英二郎 トランペット：中川喜弘 バンジョー：青木研 ほか
	新版—NINJA	6. 7. 6 (1公演)	演出・振付・アートディレクション：森山開次
社会包摂プログラム	知的・発達障がい児(者)にむけての劇場体験プログラム (KOBELCO 大ホール)	7. 3. 1 (1公演)	出演：調整中 企画・コーディネート：国際障害者交流センター(ビッグ・アイ) 制作：兵庫県立芸術文化センター
合 計		9事業	11公演

#### (5) 幅広いニーズに応える公演(自主企画制作・招聘・提携・共催事業等)

##### ① 国内外オーケストラ・オペラ・バレエ・室内楽公演等

音楽マネジメント事務所等との連携により、世界水準のオーケストラ、オペラ、バレエ公演をはじめ、様々な国の優れた舞台芸術を上演し、観客の期待に応えるとともに、大規模舞台芸術専門劇場としての存在感をアピール

演 目		公演年月日	出演者等
世界の オーケ ストラ	山田和樹指揮 モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団 (KOBELCO 大ホール) [ABCテレビ共催]	6. 5. 25 (1公演)	指揮：山田和樹 ピアノ：藤田真央
	ヤニック・ネゼ＝セガン指揮 MET オーケストラ (KOBELCO 大ホール) [Zテレビ共催]	6. 6. 22 23 (2公演)	指揮：ヤニック・ネゼ＝セガン 22日メゾソプラノ：エリーナ・ガランチャ バスバリトン：クリスチャン・ヴァン・ホーン 23日ソプラノ：リセット・オロペサ

	演 目	公演年月日	出演者等
世界のオーケストラ	サイモン・ラトル指揮 バイエルン放送交響楽 団 (KOBELCO 大ホール)	6. 11. 23 (1公演)	指揮：サイモン・ラトル 管弦楽：バイエルン放送交響楽団
	パーヴォ・ヤルヴィ指揮 ドイツ・カンマーフィル ハーモニー管弦楽団 (KOBELCO 大ホール)	6. 12. 14 (1公演)	指揮：パーヴォ・ヤルヴィ ヴァイオリン：ヒラリー・ハーン 管弦楽：ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団
世界のバレエ	モーリス・ベジャール・バレエ団「バレエ・フォー・ライフ」 (KOBELCO 大ホール)	6. 10. 2 (1公演)	出演：モーリス・ベジャール・バレエ団
	スペイン国立バレエ団 (KOBELCO 大ホール)	6. 11. 29 (1公演)	出演：スペイン国立バレエ団
世界の合唱	ウィーン少年合唱団 (KOBELCO 大ホール) [ABCテレビ共催]	6. 6. 2 (1公演)	出演：ウィーン少年合唱団
世界の巨匠	グザヴィエ・ドゥ・メ ストレ (ハープ) & 森 麻季 (ソプラノ) (KOBELCO 大ホール)	6. 6. 1 (1公演)	ハープ：グザヴィエ・ドゥ・メストレ ソプラノ：森麻季
	アンサンブル・ウィー ン＝ベルリン (KOBELCO 大ホール)	6. 10. 6 (1公演)	フルート：カール＝ハインツ・シュッツ ホルン：シュテファン・ドール ほか
	シュタイアー・トリオ (神戸女学院小ホール)	6. 10. 27 (1公演)	フォルテピアノ：アンドレアス・シュタイアー ヴァイオリン：ダニエル・ゼベック チェロ：ロエル・ディールティエンス
	ジャン＝ギアン・ケラ ス (チェロ) & アレク サンドル・タロー (ピ アノ) (神戸女学院小ホール)	6. 11. 28 (1公演)	チェロ：ジャン＝ギアン・ケラス ピアノ：アレクサンドル・タロー
	樫本大進 (ヴァイオリ ン) & ラファウ・ブレハ ッチ (ピアノ) (KOBELCO 大ホール)	6. 12. 21 (1公演)	ヴァイオリン：樫本大進 ピアノ：ラファウ・ブレハッチ
兵庫県出身、世界で活躍する音楽家たち	濱田あや (チェンバロ) (神戸女学院小ホール)	6. 9. 23 (1公演)	チェンバロ：濱田あや (NY 在住、芦屋市出身)
	河村尚子 デビュー20周年 (KOBELCO 大ホール)	6. 9. 28 (1公演)	ピアノ：河村尚子 (ドイツ在住、西宮市出身)
	小曽根真 (KOBELCO 大ホール)	6. 12. 12 (1公演)	ピアノ：小曽根真 (NY 在住、神戸市出身) ほか
	三浦謙司&アレクサン ダー・ガジェヴ (ピアノ デュオ) (KOBELCO 大ホール)	7. 3. 22 (1公演)	ピアノ：三浦謙司 (ドイツ在住、神戸市出身) アレクサンダー・ガジェヴ

	演 目	公演年月日	出演者等
日本を代表する音楽家たち	尾高忠明指揮 大阪フィルハーモニー交響楽団 (KOBELCO 大ホール) [大阪フィルハーモニー協会共催]	6. 4. 29 (1公演)	指揮：尾高忠明 管弦楽：大阪フィルハーモニー交響楽団
	仲道郁代 (ピアノ) (KOBELCO 大ホール)	6. 5. 19 (1公演)	ピアノ：仲道郁代
	御喜美江&大田智美 (アコーディオン) (神戸女学院小ホール)	6. 9. 8 (1公演)	アコーディオン：御喜美江、大田智美
	小菅優 (ピアノ) ソナタ・シリーズ第3 回・第4回 (神戸女学院小ホール)	第3回 6. 10. 5 (1公演) 第4回 7. 3. 23 (1公演)	ピアノ：小菅優
	千住真理子 (ヴァイオリン) (神戸女学院小ホール)	6. 12. 22 (1公演)	ヴァイオリン：千住真理子
	宮川彬良&アンサンブル・ベガ ニューイヤーコンサート (神戸女学院小ホール)	7. 1. 8 (1公演)	出演：宮川彬良&アンサンブル・ベガ
	村治佳織&村治奏一 (ギター) (KOBELCO 大ホール)	7. 2. 11 (1公演)	ギター：村治佳織、村治奏一
	沖澤のどか指揮 京都市交響楽団 (KOBELCO 大ホール)	7. 3. 16 (1公演)	指揮：沖澤のどか ヴァイオリン：金川真弓 フルート：フレア・チェイス 管弦楽：京都市交響楽団
こども・ファミリー向け公演	宮川彬良&アンサンブル・ベガ こどもの日スペシャル (KOBELCO 大ホール) *再掲	6. 5. 5 (1公演)	出演：宮川彬良&アンサンブル・ベガ
	中川賢一のピアノ・パーク！ (神戸女学院小ホール) *再掲	6. 8. 3 (2公演) ※内1公演は 一般向け	ピアノ：中川賢一 ほか
	中川英二郎ディキシー・ワンダーランド (神戸女学院小ホール) *再掲	6. 12. 7 (2公演) ※内1公演は 一般向け	トロンボーン：中川英二郎 トランペット：中川喜弘 バンジョー：青木研 ほか
	東京バレエ団「くるみ割り人形」 (KOBELCO 大ホール) [日本バレエ団連盟、NBS 共催]	6. 12. 25 (1公演)	出演：東京バレエ団 演奏：大阪フィルハーモニー交響楽団

	演 目	公演年月日	出演者等
その他クラシック・コンサート、リサイタル等	戸田弥生（ヴァイオリン） & エル＝バシヤ（ピアノ） （神戸女学院小ホール）	6. 4. 6 （1公演）	ヴァイオリン：戸田弥生 ピアノ：エル＝バシヤ
	“TRES” 沖仁×大萩康司×小沼ようすけ（ギター） （神戸女学院小ホール）	6. 4. 20 （1公演）	ギター：“TRES” 沖仁、大萩康司、小沼ようすけ
	CDデビュー20周年記念 岡本知高コンサート [民音共催] （KOBELCO 大ホール）	6. 5. 16 （1公演）	ソプラニスタ：岡本知高
	吉井瑞穂（オーボエ） & 鈴木大介（ギター） （神戸女学院小ホール）	6. 6. 8 （1公演）	オーボエ：吉井瑞穂 ギター：鈴木大介
	トリオ・ヴァンダラー （ピアノ三重奏） （神戸女学院小ホール）	6. 6. 29 （1公演）	ピアノ三重奏：トリオ・ヴァンダラー
	ベルチャ弦楽四重奏団 （神戸女学院小ホール）	6. 6. 30 （1公演）	弦楽四重奏：ベルチャ弦楽四重奏団
	のだめカンタービレの音楽会[関西テレビ放送共催] （KOBELCO 大ホール）	6. 8. 10 ～11 （2公演）	企画・指揮・お話：茂木大輔 ヴァイオリン：渡辺紗蘭（10日のみ）、吉村結実（11日のみ）、石井琢磨（11日のみ） 管弦楽：兵庫芸術文化センター管弦楽団
	マルシン・ディラ （ギター） （神戸女学院小ホール）	6. 9. 6 （1公演）	ギター：マルシン・ディラ
	アリーナ・イブラギモヴァ （ヴァイオリン） & セドリック・ティベルギアン（ピアノ） （神戸女学院小ホール）	6. 11. 16 （1公演）	ヴァイオリン：アリーナ・イブラギモヴァ ピアノ：セドリック・ティベルギアン
	ウィーン・シュトラウス・フェスティバル・オーケストラ（KOBELCO 大ホール）	7. 1. 11 （1公演）	管弦楽：ウィーン・シュトラウス・フェスティバル・オーケストラ
	生オケ×シネマ チャップリン「モダン・タイムス」 （KOBELCO 大ホール）	7. 2. 1 （1公演）	指揮：竹本泰蔵 管弦楽：兵庫芸術文化センター管弦楽団
	金川真弓（ヴァイオリン） & 佐藤晴真（チェロ） & 久末航（ピアノ） （神戸女学院小ホール）	7. 2. 2 （1公演）	ヴァイオリン：金川真弓 チェロ：佐藤晴真 ピアノ：久末航
	ケヴィン・チェン（ピアノ） （神戸女学院小ホール） [ABCテレビ共催]	7. 2. 15 （1公演）	ピアノ：ケヴィン・チェン
	及川浩治（ピアノ） （神戸女学院小ホール）	7. 3. 2 （1公演）	ピアノ：及川浩治
	テレマン室内オーケストラ （神戸女学院小ホール）	7. 3. 6 （1公演）	管弦楽：テレマン室内オーケストラ
合 計			43事業 48公演

※共催事業：①芸文センターのコンセプトに合致、ラインナップとバランス・整合・補強するもので、②共催者からの提案・事業誘致（営業）によって選定し、③広報券売協力に加え、収支リスク負担・施設設備使用料負担について条件協議を行う事業

② 国内外演劇・ミュージカル・古典芸能公演等（阪急中ホール）

劇場・劇団とのネットワークにより、ストレートプレイ、一人芝居などの演劇をはじめ、ミュージカル、ダンス、狂言、落語など、幅広い層が楽しめる良質で多彩な演目を提供するとともに、シアターコンサート等、芸術文化センターならではの企画を展開

	演 目	公演年月日	出演者等
実績のある公共劇場との連携 演劇・ミュージカル等（良質な作品制作）	メディア/イアソン *世田谷パブリックシアターとの連携	6. 4. 4 ～6 (4公演)	演出：森新太郎 出演：井上芳雄、南沢奈央、三浦宏規 ほか
	「La Mere 母」 「Le Fils 息子」 *東京芸術劇場との連携	6. 5. 10 ～12 (4公演)	演出：ラディスラス・ショラー 出演：若村麻由美、岡本圭人 ほか
	Medicine *世田谷パブリックシアターとの連携	6. 6. 15 ～16 (4公演)	演出：白井晃 出演：田中圭、奈緒、富田えり子
	新版—NINJA *再掲 *新国立劇場との連携	6. 7. 6 (1公演)	演出・振付・アートディレクション：森山開次
	木下歌舞伎 「三人吉三」 *東京芸術劇場との連携	6. 10. 19 ～20 (2公演)	演出：杉原邦生 出演：須賀健太、緒川たまき ほか
	セツアンの善人 *世田谷パブリックシアターとの連携	6. 11. 9 ～10 (2公演)	演出：白井晃 出演：調整中
	ロボット R.U.R *世田谷パブリックシアターとの連携	6. 12. 14 ～15 (2公演)	演出：ノゾエ征爾 出演：調整中
花と龍 *KAAT 神奈川芸術劇場との連携	7. 3. 8 ～9 (3公演)	演出：長塚圭史 出演：調整中	
演劇・ミュージカル等（幅広いファンにアピールする公演、エンターテイメント性の高い公演）	GOOD～良き人	6. 4. 27 ～29 (3公演)	演出：長塚圭史 出演：佐藤隆太、萩原聖人 ほか
	加藤健一事務所 「二人の主人を一度に持つと」	6. 5. 25 (1公演)	演出：鶴山仁 出演：加藤健一、清水明彦 ほか
	ナイロン 100℃	6. 8. 3 ～4 (3公演)	演出：ケラリーノ・サンドロヴィッチ 出演：調整中
	リーディングドラマ 「終わった人」	6. 7. 15 (1公演)	台本・演出：笹部博司 出演：中井貴一、キムラ緑子
	オーランドー	6. 8. 8 ～11 (5公演)	演出：栗山民也 出演：宮沢りえ ほか
	白石加代子「百物語」	6. 11. 2 (1公演)	構成・演出：鴨下信一 出演：白石加代子

	演 目	公演年月日	出演者等
演劇・ミュージカル等 （幅広いファンにアピール する公演、エンターテインメント性の高い公演）	こまつ座 「芭蕉通夜舟」	6. 11. 16 (1公演)	演出：鶴山仁 出演：内野聖陽 ほか
	そのいのち [関西テレビ放送共催]	6. 11. 22 ～24 (4公演)	演出：堤泰之 出演：宮沢りえ、佐藤二郎 ほか
	血の婚礼	6. 12. 28 ～29 (3公演)	演出：栗山民也 出演：調整中
	二兎社公演	7. 1. 18 (1公演)	演出：永井愛 出演：調整中
	ハイバイ「て」	7. 2. 1 ～2 (2公演)	演出：岩井秀人 出演：大倉孝二、小松和重 ほか
ミュージカル	ジョジョの奇妙な冒険（東宝） [梅田芸術劇場共催] (KOBELCO 大ホール)	6. 4. 9 ～14 (8公演)	演出：長谷川寧 出演：松下優也／有澤樟太郎（ダブルキャスト） ほか
	梅田芸術劇場共催 ミュージカル [梅田芸術劇場共催] (KOBELCO 大ホール)	日程調整中	出演：調整中
	梅田芸術劇場共催 ミュージカル [梅田芸術劇場共催]	日程調整中	出演：調整中
	梅田芸術劇場共催 ミュージカル [梅田芸術劇場共催] (KOBELCO 大ホール)	日程調整中	出演：調整中
	ネクスト トゥ ノーマル（東宝）	7. 1. 10 ～13 (6公演)	演出：上田一豪 出演：調整中
伝統芸能	春爛漫 茂山狂言会 お豆腐狂言会	6. 4. 20 (1公演)	出演：茂山千五郎 ほか
	Cutting Edge Kyogen	6. 8. 31 (2公演)	出演：茂山千五郎 ほか
	万作萬斎狂言	6. 11. 27 ～28 (2公演)	出演：野村万作、野村萬斎 ほか
	淡路人形浄瑠璃特別 公演	6. 11. 30 (1公演)	出演：淡路人形座

	演 目	公演年月日	出演者等
落 語 会	月亭方正独演会	6. 4. 21 (1公演)	出演：月亭方正
	柳家喬太郎独演会	6. 5. 18 (2公演)	出演：柳家喬太郎
	笑福亭松喬独演会	6. 6. 22 (1公演)	出演：笑福亭松喬
	桂吉弥独演会	6. 7. 28 (1公演)	出演：桂吉弥
	桂二葉独演会	6. 9. 1 (1公演)	出演：桂二葉
	特選落語競演会	6. 9. 21 (2公演)	出演：調整中
	桂文珍独演会	6. 10. 12 ～13 (2公演)	出演：桂文珍
	笑福亭鶴瓶独演会	7. 1. 25 ～26 (2公演)	出演：笑福亭鶴瓶
	落語会	日程調整中 (1公演)	出演：調整中
講 談	神田伯山独演会	7. 3. 20 (1公演)	出演：神田伯山
ダ 舞 踊 ス ・	コンドルズ 兵庫スペシャル公演 2024	6. 7. 20 (1公演)	出演：コンドルズ
合 計			39事業 82公演以上

### ③ 舞台の楽しみを広げる音楽オリジナル『シリーズ企画』

世界一流の室内楽団をはじめ、地元出身で幅広い活躍を続ける音楽家や、世界の音楽・ダンスを集めた「世界音楽図鑑」、「古楽の愉しみ」によるアーリーミュージック、ジャズなどシリーズ企画により、芸術文化センターならではの良質で親しみやすい幅広いジャンルの公演で音楽系ファンの裾野を広げる。

	演 目	公演年月日	出演者等
世 界 音 楽 図 鑑	WASABI (邦楽アンサンブル) (阪急中ホール)	6. 9. 7 (1公演)	津軽三味線：吉田良一郎 尺八：元永拓 箏・十七絃：市川慎 太鼓・鳴り物：美鵬直三朗
	アヌーナ (ケルティック・コーラス) (KOBELCO 大ホール)	6. 11. 22 (1公演)	出演：アヌーナ
	北欧のクリスマス クラヤ (ア・カペラ) (神戸女学院小ホール)	6. 12. 15 (1公演)	出演：クラヤ (スウェーデン)

	演 目	公演年月日	出演者等
古 楽 の 愉 し み	平崎真弓 (バロック・ヴァイオリン) & ロレンツォ・ギエルミ (チェンバロ) (神戸女学院小ホール)	6. 5. 26 (1公演)	出演：平崎真弓 (バロック・ヴァイオリン) ロレンツォ・ギエルミ (チェンバロ)
	濱田あや (チェンバロ) (神戸女学院小ホール) *再掲	6. 9. 23 (1公演)	出演：濱田あや (チェンバロ)
	シュテファン・テミング (リコーダー) & マルグレート・ケール (ハープ) (神戸女学院小ホール)	6. 10. 13 (2公演)	出演：シュテファン・テミング (リコーダー) マルグレート・ケール (ハープ)
	シュタイアー・トリオ (神戸女学院小ホール) *再掲	6. 10. 27 (1公演)	出演：アンドレアス・シュタイアー (フォルテピアノ)、 ダニエル・ゼペック (ヴァイオリン)、 ロエル・ディールティエンス (チェロ)
	バロック・オペラ「オルフェオ」 ワンコイン・プレ・レクチャー (阪急中ホール) *再掲	6. 10. 30 (2公演)	お話：濱田芳通、中村敬一
	ジェズアルド・シックス (ア・カペラ) (神戸女学院小ホール)	6. 11. 30 (1公演)	出演：ジェズアルド・シックス (ア・カペラ)
	ジュスタン・テイラー (神戸女学院小ホール)	7. 1. 13 (1公演)	出演：ジュスタン・テイラー (チェンバロ)
	バロック・オペラ・エボリューション 2025 濱田芳通 & アントネッロ 音楽寓話劇「オルフェオ」 (阪急中ホール) *再掲	7. 2. 15 ~16 (2公演)	音楽：クラウディオ・モンテヴェルディ 台本：アレッサンドロ・ストリッジョ 指揮：濱田芳通 演出：中村敬一 出演・管弦楽：アントネッロ
	川口成彦 (フォルテピアノ) (神戸女学院小ホール)	7. 3. 15 (1公演)	出演：川口成彦 (フォルテピアノ)
ク リ ス マ ス ・ ジ ャ ズ ・ フ ェ ス テ ィ バ ル	中川英二郎 (トロンボーン) (KOBELCO 大ホール) *再掲	6. 12. 7 (2公演)	出演：中川英二郎 (トロンボーン) ほか
	小曾根真 (ピアノ) (KOBELCO 大ホール) *再掲	6. 12. 12 (1公演)	出演：小曾根真 (ピアノ) ほか
	アトリエ澤野スペシャル (神戸女学院小ホール)	6. 12. 13 (1公演)	出演：アトリエ澤野アーティスト
	日野皓正 (トランペット) (阪急中ホール)	6. 12. 17 (1公演)	出演：日野皓正 (トランペット) ほか
	北村英治カルテット (神戸女学院小ホール)	6. 12. 18 (1公演)	出演：北村英治 (クラリネット) ほか
	アロージャズオーケストラ (KOBELCO 大ホール)	6. 12. 20 (1公演)	出演：アロージャズオーケストラ

演 目		公演年月日	出演者等
ステップ コンサート	阪田知樹(ピアノ) (KOBELCO 大ホール)	6. 10. 26 (1公演)	ピアノ：阪田知樹 ナビゲーター：浦久俊彦
夜の音楽会	【新企画】 夜の音楽会 ～今夜はショパン (KOBELCO 大ホール)	6. 4. 26 (1公演)	（若い方にも劇場の楽しみを。平日夜の大人時間を劇場で、気軽にお得に楽しんでいただくための70分間のコンサート。） ピアノ：津田裕也
合 計		20事業	24公演

## (6) 舞台芸術の普及・県民の創造活動支援

### ① プロムナード・コンサート、ワンコイン・コンサート等

#### (ア) プロムナード・コンサート (KOBELCO 大ホール)

人気・実力を兼ね備えた国内演奏家や国外アーティストを招き、親しみやすいプログラムによる低額入場料 (2,000 円程度) 公演を開催し、広範囲な集客 (裾野の拡大) をめざす。

演 目	公演年月日	出演者等
グザヴィエ・ドゥ・メストレ (ハープ) & 森麻季 (ソプラノ) *再掲	6. 6. 1 (1公演)	出演：グザヴィエ・ドゥ・メストレ (ハープ) 森麻季 (ソプラノ)
ザ・レヴ・サクソフォン・クワルテット	6. 9. 29 (1公演)	出演：上野耕平、宮越悠貴、都築惇、 田中奏一朗
郷古廉 (ヴァイオリン) & ホセ・ガヤルド (ピアノ)	6. 11. 24 (1公演)	出演：郷古廉 (ヴァイオリン) ホセ・ガヤルド (ピアノ)
ネマニャ・ラドウロヴィチ (ヴァイオリン) ドゥーブル・サンス (弦楽合奏、ピアノ/チェンバロ)	7. 1. 26 (1公演)	出演：ネマニャ・ラドウロヴィチ (ヴァイオリン) ほか
村治佳織&村治奏一 (ギター) *再掲	7. 2. 11 (1公演)	出演：村治佳織、村治奏一 (ギター)
合 計	5事業	5公演

(イ) ワンコイン・コンサート (入場料 500 円) (KOBELCO 大ホール)

県内外音楽コンクール受賞者など兵庫・関西ゆかりの新進気鋭の音楽家による 60 分のコンサートを平日の昼間に開催し、広範囲な集客 (裾野の拡大) をめざす。

出演者	公演年月日	出演者等
芝内もゆる (ヴィオラ)	6. 4. 16 (1公演)	大阪府出身。全日本学生音楽コンクール大阪大会第1位、松方ホール音楽賞奨励賞受賞。相愛大学、同大学大学院修了。大阪フィルハーモニー交響楽団ヴィオラ・トップ奏者。
PAC 山田涼子 (オーボエ) & 陶山咲希 (ファゴット)	6. 5. 22 (1公演)	《山田》茨城県出身。東京藝術大学を首席卒業。在学中に安宅賞、卒業時にアカンサス音楽賞、三菱地所賞を受賞。同大学院修士課程を修了。兵庫芸術文化センター管弦楽団コアメンバー。 《陶山》大阪府出身。京都市立芸術大学音楽学部管・打楽専攻を卒業。明治安田生命クオリティオブライフ文化財団奨学生として在籍し、卒業時に真声会賞を受賞。兵庫芸術文化センター管弦楽団コアメンバー。
尾城杏奈 (ピアノ)	6. 6. 19 (1公演)	大阪府出身。第 44 回ピティナ・ピアノコンペティション特級グランプリ。ロームミュージックファンデーション奨学生。東京藝術大学を卒業後、同大学大学院修士課程を修了。パリ・エコールノルマル音楽院に在学中。
野口真瑚 (ソプラノ) & 仲田尋一 (バリトン)	6. 8. 8 (1公演)	《野口》京都府出身。大阪音楽大学声楽専攻卒業。卒業時に最優秀賞受賞。同大学院声楽研修室オペラ系修了。2022 年より新国立劇場オペラ研修所25期生。 《仲田》大阪府出身。大阪音楽大学大学院声楽研究室・オペラ系修了。新国立劇場オペラ研修所第21期修了。オペラ研修所在籍中に、ANA スカラシップにより、ミラノ・スカラ座アカデミーにて研修。
濱地真聖 (トロンボーン)	6. 9. 20 (1公演)	大阪府出身。第 18 回関西トロンボーン協会コンクールヤングアーティストソロ部門第1位。2022 年 8 月第 25 回松方ホール音楽賞金管部門にて音楽賞を史上最年少受賞。
落合真子 (ヴァイオリン)	6. 10. 3 (1公演)	滋賀県出身。東京藝術大学に特待奨学生として首席入学。第 90 回日本音楽コンクール第 2 位、第 24 回松方ホール音楽賞等入賞多数。スーパーキッズ・オーケストラ 2018 年度コンサートミストレス。ロームミュージックファンデーション 2023 年度奨学生。
河島利香 (ピアノ)	6. 12. 11 (1公演)	大阪府出身。大阪音楽大学ピアノ演奏家特別コースを首席卒業。同大学大学院修了。第 1 回豊中音楽コンクール大学・一般の部ピアノ部門第 1 位。第 29 回宝塚ベガ音楽コンクールピアノ部門第 1 位、兵庫県知事賞受賞。

出演者	公演年月日	出演者等
櫃本瑠音(チェロ)	7. 1. 10 (1公演)	大阪府出身。スーパーキッズ・オーケストラに在籍。第86回日本音楽コンクールチェロ部門本選入選、岩谷賞受賞。2023年、Opus one 第4期生。日本コロムビアよりCD「Le grand tango」をリリース。
山本 英 (フルート)	7. 2. 13 (1公演)	滋賀県出身。第38回日本管打楽器コンクールフルート部門第1位、併せて文部科学大臣賞、東京都知事賞受賞。日本センチュリー交響楽団と共演。現在、東京藝術大学大学院音楽研究科器楽フルート専攻在籍。
松原みなみ (ソプラノ)	7. 3. 18 (1公演)	大阪府出身。東京藝術大学音楽学部声楽科、同大学大学院音楽研究科修士課程(独唱)、博士後期課程(独唱)修了。博士号(音楽)を取得。ウィーン国立音楽大学オペラ科を審査員満場一致の首席(最優秀)で修了。第91回日本音楽コンクール声楽部門(歌曲)第1位。
合 計		10事業 10公演

<音楽事業アドバイザー会議>

センターの主催する音楽事業の中で、兵庫・関西ゆかりの若手アーティスト・人材を登用する普及事業(ワンコイン・コンサート等)の出演者候補について発掘・審議するため、音楽事業アドバイザー会議を開催

(アドバイザー)

中村孝義(大阪音楽大学理事長)、藤本賢市(神戸新聞社)、青木さやか(読売新聞大阪本社編集局文化部記者)、小味渕彦之(評論家、豊中市立文化芸術センター館長)

(ウ) ワンコイン・コンサート NO.1 アーティスト アンコール・リサイタル

2023年の出演アーティストの中から選出(神戸女学院小ホール)

演 目	公演年月日	出演者等
岸本萌乃加 (ヴァイオリン)	7. 3. 13 (1公演)	岡山県出身。スーパーキッズ・オーケストラに在籍。東京藝術大学音楽学部附属音楽高校を経て、同大学を首席卒業、同大学大学院修了。東京音楽コンクール第1位、日本音楽コンクール第3位。HONO Quartet メンバー、読売日本交響楽団次席奏者。
合 計		1事業 1公演

(エ) ワンコイン・コンサート出演者お披露目 新春・顔見世コンサート

次年度ワンコイン・コンサート出演者と新年を祝うコンサート

(KOBELCO 大ホール)

演 目	公演年月日	出演者等
次年度ワンコイン・コンサート出演者お披露目 新春・顔見世コンサート	7. 1. 3 (1公演)	次年度ワンコイン・コンサート出演者
合 計		1事業 1公演

(オ) ワンコイン・プレ・レクチャー（阪急中ホール）

芸術監督プロデュースオペラをより楽しんでいただくため、オペラ歌手によるハイライトコンサートを開催。また、専門家、演奏家等のレクチャー・トークを実施し、広範囲な集客（裾野の拡大）をめざす。

演 目	公演年月日	出演者等
「蝶々夫人」 ハイライトコンサート ～ええとこどり！*再掲	6. 4. 17 ～18 (2公演)	出演：梨谷桃子、古屋彰久、伊藤友祐ほか ピアノとお話：伊原敏行 ステージング：ケーシー ハシモト 音楽スタッフ：西尾麻貴
	6. 4. 20	赤穂化成ハーモニーホール小ホール
	4. 21	洲本市文化体育館文化ホール
	4. 27	やぶ市民交流広場
	4. 28	福崎町エルデホール
	4. 29	西脇市アピカホール
	5. 3	三田市郷の音ホール大ホール
	5. 5	小野市うるおい交流館エクラホール
	5. 11	丹波篠山市立田園交響ホール
	5. 12 (9公演)	明石市市民会館大ホール
「蝶々夫人」 ワンコイン・プレ・レクチャー *再掲（阪急中ホール）	6. 5. 29 (2公演)	講師：中村敬一（演出家） ゲスト：晴雅彦（バリトン） ※同日2回
合 計		2事業 13公演 9公演（県内公演）

(カ) ドリーム・コンチェルト（KOBELCO 大ホール）

ワンコイン・コンサート出演者と芸術文化センター管弦楽団によるスペシャル・コンサートを開催

演 目	公演年月日	出演者等
ドリーム・コンチェルト *冠協賛：西宮ロータリークラブ H24年から13回目 協賛継続	6. 5. 18 (1公演)	指揮：出口大地 独奏：坂東裕香（ホルン）、 石上真由子（ヴァイオリン） 坂本彩（ピアノ） 管弦楽：兵庫芸術文化センター管弦楽団
合 計		1事業 1公演

(キ) 舞台芸術団体フェスティバル（共催）（県域団体）

演 目	公演年月日	主催団体
KOBELCO大ホール	2024年度兵庫県合唱コンクール 小学校・中学校・高等学校の部	6. 5. 18 兵庫県合唱連盟
	TENORE SUMMIT (テノール・サミット)	6. 8. 31 THE PRIMO
	面白い！笑える！でもすごい！ それがブラビッシモ	6. 9. 1 尼崎市文化団体協議会/尼崎ピアノ音楽協会
	ひょうごブラスフェスティバル	6. 9. 22 兵庫県吹奏楽連盟

演 目		公演年月日	主催団体
阪急中ホール	ひょうご邦楽の祭典	6. 9. 15	兵庫県箏絃連盟
	明日の風	6. 9. 28	劇団道化座
	シャンソン・ミュージカル 「恋のフライト」	6. 9. 29	Kei Music Street
神戸女学院小ホール	アンサンブルフェスティバル in 兵庫	6. 9. 15	兵庫県音楽活動推進会議
	第30回記念 アルカディア特別演奏会	6. 9. 28	(公財) アルカディア音楽芸術財団
	声楽&ピアノによる「ソロとアンサンブルの夕べ」	6. 9. 21	アミーチ・デイ・ムジチステイ
合 計		10事業	10公演

② ピッコロ劇団公演（共催）（阪急中ホール）

演 目	公演年月日	出演者等
ファミリー劇場「さらって行ってよ ピーターパン」	6. 12. 21 ～22 (3公演)	作=別役 実 演出=眞山直則（ピッコロ劇団）
兵庫県立ピッコロ劇団 第81回公演 ピッコロシ アタープロデュース 「神戸わが街」	7. 2. 21 ～23 (5公演)	作=ソントン・ワイルダー（『わが町』より） 潤色=別役 実 演出=吉村祐樹（ピッコロ劇団）
合 計		2事業 8公演

## 2 兵庫芸術文化センター管弦楽団事業

兵庫県立芸術文化センター専属のプロオーケストラとして、毎年世界各地でオーディションを実施し、優秀な若手演奏家を中心に構成する兵庫ならではのユニークな『フレッシュでインターナショナル』なオーケストラ。また、兵庫から世界に人材を育て発信する『オーケストラアカデミー』の要素も有する「兵庫芸術文化センター管弦楽団」では、①定期演奏会の開催、プロデュースオペラ公演への出演をはじめ、②室内楽演奏会や③県内各地でのアウトリーチ活動など、「パブリックシアター」の顔にふさわしい多彩な活動を展開していく。(県内41市町一巡達成 H26.4月)

- コアメンバー（10型2管）をベースに、レジデント・プレイヤーを加え12型（標準）、アソシエイト・プレイヤーを加え14型（大規模編成）にも安定的・フレキシブルに対応。
- クオリティの高い演奏を提供するとともにアカデミーとしてコアメンバーをリードするため弦パート・トップ中心に「ゲストトップ」奏者（国内オーケストラ首席級）を招聘
  - ・芸術監督：佐渡裕                      ・レジデント・コンダクター：岩村力
  - ・コンサートマスター：田野倉雅秋、豊嶋泰嗣
  - ・コアメンバー：14パート48人  
(10型2管編成、35歳以下、3年契約、全国・世界各地でのオーディションで選抜)  
(令和5年9月現在:12カ国 14パート47人 平均年齢26.9歳)

### (1) 演奏会活動

フレッシュでインターナショナルなオーケストラの魅力ある演奏会を実施

#### ① 定期演奏会（KOBELCO 大ホール）

佐渡裕芸術監督をはじめ、世界一流の客演指揮者やソリストを招聘し、古典から現代曲までの魅力あるレパートリーを、大小さまざまな編成で演奏し、質の高い芸術性を追求する。

演 目	公演年月日	出演者等
〔2023-2024 シーズン〕 第150回 松下功:和太鼓協奏曲「飛天遊」	6.5.10 ～12 (3公演)	指 揮：角田鋼亮 太 鼓：林英哲
第151回 スクリヤエフ:連作交響詩「わが祖国」	6.6.14 ～16 (3公演)	指 揮：下野竜也
第152回 アルチェミアン:トランペット協奏曲	6.8.2 ～4 (3公演)	指 揮：佐渡裕 トランペット：セリーナ・オット
〔2024-2025 シーズン〕 第153回 ショパン:ピアノ協奏曲第1番	6.9.13 ～15 (3公演)	指 揮：佐渡裕 ピアノ：亀井聖矢
第154回 ドヴォルザーク:チェロ協奏曲	6.10.18 ～20 (3公演)	指 揮：下野竜也 チェロ：マリオ・ブルネロ
第155回 マーラー:交響曲第6番「悲劇的」	6.11.8 ～10 (3公演)	指 揮：カーチン・ウォン

演 目	公演年月日	出演者等
第 156 回 マーラー：交響曲第 8 番	7. 1. 17 ～19 (3公演)	指 揮：佐渡 裕 ソプラノ：並河寿美、小林沙羅、小川里美 ア ル ト：清水華澄、林美智子 テノール：調整中 バリトン：キュウ・ウオン・ハン バ ス：妻屋秀和 合 唱：オープニング記念第 9 合唱団ほか
第 157 回 中川英二郎：トライセンス	7. 2. 21 ～23 (3公演)	指 揮：クリスティアン・アルミンク トロンボーン：中川英二郎
第 158 回 モーツァルト：ホルン協奏曲第 3 番	7. 3. 7 ～9 (3公演)	指 揮：川瀬賢太郎 ホルン：シュテファン・ドール
第 159 回 調整中	7. 5. 23 ～25 (3公演)	指 揮：ミハイル・プレトニョフ
第 160 回 ハイドン：ピアノ協奏曲	7. 6. 20 ～22 (3公演)	指 揮：ユベール・スダーン ピアノ：児玉 桃
第 161 回 ブラーム：戦争レクイエム	7. 8. 8 ～10 (3公演)	指 揮：佐渡 裕 ソプラノ：並河寿美 テノール：調整中 バリトン：キュウ・ウオン・ハン 合 唱：ひょうごプロデュースオペラ合唱 団、オープニング記念第 9 合唱団 児童合唱：調整中
合 計		9 事業 27 公演

\*2023-2024 シーズン定期会員数 4,311 (金曜 1,456, 土曜 1,448, 日曜 1,407)

## ② 特別演奏会

名曲コンサート、ファミリーコンサート、ポップスコンサートなど親しみやすい公演により幅広い観客ニーズに応え、クラシックファン層を広げる。

演 目	公演年月日	出演者等
リサイタルシリーズ (神戸女学院小ホール)	6. 6. 18 (1公演)	ヴァイオリン：古関奏絵 ヴィオラ：チャン・ソヒョン
第 39 回 名曲コンサート (KOBELCO 大ホール)	6. 12. 15 (1公演)	指 揮：ユベール・スダーン ピアノ：菊池洋子
合 計		2 事業 2 公演

## ③ 室内楽演奏会 (神戸女学院小ホール)

バロックから現代曲まで、さまざまなレパートリーを多様な編成で演奏し、室内楽の魅力を伝える。芸術文化センター管弦楽団コアメンバーと特別契約奏者との組み合わせ。幅広い編成で高度な公演を実現。

演 目		公演年月日	出演者等
室内楽シリーズ	第79回 打楽器セクション	6. 4. 13 (1公演)	ティンパニ：ヴィーラント・ヴェルツェル
	第80回 弦楽器セクション	6. 5. 25 (1公演)	ヴィオラ：ウェン・シャオ・ツェン
	第81回 金管楽器セクション	6. 6. 22 (1公演)	ホルン：リーラニー・ストレット
	第82回 調整中	7. 3. 22 (1公演)	調整中
合 計		4事業	4公演

④ センター事業への出演 6事業16公演（再掲）

佐渡芸術監督のプロデュースするオペラ・コンサート公演等で演奏

(2) 体験教育・普及活動

① 青少年芸術体験事業「わくわくオーケストラ教室」の実施 40公演 KOBELCO 大ホール

兵庫県内の中学1年生（約4万5千人全員）を対象に、本格的な交響楽団の演奏に親しむ機会を設けることにより、これからの社会を担う生徒の豊かな感性、創造力を育むとともに、音楽教育（体験教育）の振興を図る。

【企 画】佐渡裕芸術監督 【指 揮】岩村力（リゼント・コンダクター）ほか

【内 容】第1部 参加・体験コーナー：ホールの紹介、楽器紹介  
第2部 鑑賞コーナー：楽曲の紹介、演奏会

【公演時間】約1時間（70分）

【時 期】令和6年5月28日（火）～令和7年1月29日（水）

② アウトリーチ活動

芸術文化センターからの遠隔地域や日頃音楽に触れる機会の少ない方々に音楽の魅力・感動を伝え、音楽の普及と楽団のPRを図るため、アウトリーチ活動を展開し、活動先については公募制度も導入・実施（医療機関、福祉施設、小中高等学校、参画と協働を実践する地域活動への参加等）

\*平成29年度～小学校・特別支援学校を対象としたアウトリーチ（公募により募集）を重点実施

③ スーパーキッズ・オーケストラ公演

令和6年8月24日（土）～25日（日）・2公演 KOBELCO 大ホール

(3) 多彩な演奏活動

楽団の魅力を広く県内・全国へPR（県内外からの依頼公演等）

① 県内外ホールと連携した演奏活動

(ア) 佐渡裕芸術監督指揮によるコンサート

神奈川県川崎市（ミュージアム川崎シンフォニーホール）

8月5日（月）

明石市（明石市民会館）

9月8日（日）

## ② 幅広いニーズに対応した演奏活動

(ア) 関西6オケ・スペシャル公演 (フェスティバルホール)	4月20日 (土)
(イ) ラ・フォル・ジュルネ (東京国際フォーラム・2事業2公演)	5月3日 (金・祝)
(ウ) 須磨学園コンサート (神戸国際会館)	10月30日 (水)
(エ) 関大一中コンサート (KOBELCO 大ホール)	11月21日 (木)
(オ) 1万人の第九 (大阪城ホール)	12月1日 (日)
(カ) デイズ・ニュー ファンタジア ライブ・オーケストラ・コンサート (KOBELCO 大ホール)	12月7日 (土)
(キ) 武庫川コンチェルト (甲子園会館)	3月16日 (日)

## ③ 県議会議場コンサート

2月 (2月県会開会日)

## (4) コアメンバー演奏力の強化

### ① PACシーズン・オープニング・フェスティバル (ミュージックキャンプ)

若手育成という当楽団の性格から、そのミッションの一つであるアカデミー機能のより一層の強化、充実を目的に、シーズン・スケジュールの初め(9月)に国内外より著名な指導者陣(スペシャル・ゲスト・プレイヤー)を招き、オーケストラのレベルアップに不可欠なアンサンブル力の強化を図る(ミュージックキャンプ)。

また、芸術文化センターだけでなく、県内市町の文化施設においても開催(共同主催)することで、地域における音楽文化の発展に寄与する(フェスティバル)。

【時期】令和6年9月3日(火)～9月7日(土)5日間

\*その直後の佐渡監督指揮・第153回定期演奏会(9/13～9/15)に成果を繋げる

【会場】多可町ベルディーホール

【内容】①室内楽プログラム(スペシャル・ゲスト・プレイヤーのリーダーシップ)  
②オーケストラプログラム(指揮:佐渡芸術監督)  
③アウトリーチコンサート、④リハーサル公開、マスタークラス 等

【スケジュール】9月2日(月)～9月4日(水)シーティングオーディション等実施(芸文センター)  
9月5日(木)～9月7日(土)リハーサル・公演、マスタークラス、公開リハ、アウトリーチ等実施(多可町)

【出演】佐渡裕(指揮・芸術監督)

兵庫芸術文化センター管弦楽団(コアメンバー)

スペシャル・ゲスト・プレイヤー(調整中)

(開催地)平成25年洲本市⇒平成26年豊岡市⇒平成27年洲本市⇒平成28年篠山市⇒平成29年赤穂市⇒平成30年篠山市  
⇒令和元年明石市⇒令和2年洲本市(中止)⇒令和3年養父市(合宿・無観客配信実施)⇒令和4年養父市⇒令和5年洲本市

## ② 世界トップ級の奏者を、ソリスト、客演コンマス、パートトップとして招聘(特別契約演奏者)し、当楽団との共演、指導(マスタークラス)により、コアメンバーが世界一流の演奏技術などを体感できる機会を設ける。

## (5) 東日本大震災復興祈念等の継続的な取組

- ・スーパーキッズ・オーケストラの継続的な東日本大震災被災地訪問演奏活動
- ・東日本大震災復興祈念等事業資金

センター職員が、外部の委員会(芸術文化関連)の委員として従事したり、大学等で講義・講演を行う場合の報酬等や大口の寄附金収入等を「東日本大震災復興祈念等事業資金」として管理し、被災地への支援活動を行い有効活用。

(ア) 財源：寄附金、表彰副賞、委員謝金等

\*第2回貝原俊民美しい兵庫づくり賞副賞（地域政策研究会 500 千円）、神戸新聞平和賞副賞（神戸新聞 300 千円）、福島原発事故賠償金（東京電力 7,386 千円）大口の寄附金（H25:2,000 千円、H26:4,000 千円、H28:3,182 千円、H29:55,500 千円）等  
\*委員謝金：43 件 1,533 千円、講師謝金：72 件 12,413 千円（H23～R5）

(イ) 充当事業

- (1) スーパーキッズ・オーケストラによる被災地訪問演奏
- (2) PACメンバーによる被災地アウトリーチ活動
- (3) プロデュースオペラ、楽団定期演奏会等への被災者招待 等

・スーパーキッズ・オーケストラ事業推進資産

サントリーホールディングス（株）がスーパーキッズ・オーケストラの設立趣旨や東日本大震災復興祈念活動に賛同して寄附（平成 26 年度）いただいた 150,000 千円を原資に東北への訪問、合宿等の事業活動（平成 27 年度から 10 年間）を展開（サントリー「東北サンさんプロジェクト」の一環）、令和 6 年度以降も同事業への支援を予定。

### <ホール別の主催事業数・公演数>

区分	芸術文化センター事業		芸術文化センター管弦楽団事業		主催事業 計
	主催事業	舞台芸術団体 フェスティバル 等	演奏活動	青少年芸術体験事業	
KOBELCO 大ホール	49 事業 65 公演	4 事業 4 公演	11 事業 30 公演	1 事業 40 公演	65 事業 139 公演
阪急 中ホール	46 事業 87 公演	5 事業 11 公演	—	—	51 事業 98 公演
神戸女学院 小ホール	30 事業 34 公演	3 事業 3 公演	5 事業 5 公演	—	38 事業 42 公演
小計	125 事業 186 公演	12 事業 18 公演	16 事業 35 公演	1 事業 40 公演	154 事業 279 公演
外部公演	9 公演	—	1 事業 1 公演	—	1 事業 10 公演
楽団外部依頼公演	—	—	11 事業 11 公演	—	11 事業 11 公演
計	125 事業 195 公演	12 事業 18 公演	28 事業 47 公演*	1 事業 40 公演	166 事業 300 公演
【基準】	【36 事業 58 公演】		【48 公演】	【40 公演】	【146 公演】

\*センター事業への出演公演数は含まない。

[注1] 上記のほか普及事業開催：広報普及イベント（公開リハーサル、レクチャー・トーク、ワークショップ、バックステージツアー、企画展示、西北活性化協議会イベント等）、楽団アウトリーチ活動等

### 3 芸術文化センター広報・普及活動

#### (1) 広報活動

##### ① 多面的な広報宣伝活動

新聞・テレビ・DM・WEB・メルマガといった様々なメディアを組み合わせるクロスメディア展開により、芸文センターの認知度向上や新たなファンの発掘・裾野拡大、チケット購買促進を図る。

##### (ア) 記者会見等の実施

メディア取材を誘致するために、記者会見、取材会、プレスリリースなどを積極的に実施する。開館 20 周年に向けてロゴ、ポスター等を作成し、開館 20 周年のスタート前には記者会見を実施予定。

##### (イ) 広告宣伝の実施

チケット購買促進のために、様々なメディアを活用して効果的な広告宣伝を実施する。

##### ② 自主媒体による展開

##### (ア) 情報誌「ひょうご舞台芸術」の発行【年 2 回／各 6 万部】

実施した主催公演を特集した情報誌を半年ごとに発行。先行予約会員ほか、各公共施設等に配布し、芸文センターの舞台芸術を紹介する。

##### (イ) 会報誌の発行【月 1 回／45,000～60,000 部】

先行予約会員向けに主催公演の発売案内とチラシを一緒に送付することにより、チケット購買促進を図る。

##### (ウ) 「公演スケジュール」の発行【月 1 回／各 6,000 部】

主催・貸館公演を一覧にした月間スケジュールを発行し、記者や県内施設等に配布して、芸文センター事業を広く周知

##### (エ) 芸文センターWebサイトの運営 (<https://www.gcenter-hyogo.jp>)

芸文センターの周知及びチケット購買促進を図る。

【主な内容】ニュース&トピックス、施設予約、公演チケット販売など

##### (オ) 特設Webサイトの運営

##### (a) 佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ特設サイト

プロデュースオペラ 2024「蝶々夫人」を紹介する。

【内容】作品・キャスト等の紹介、最新ニュース、過去のオペラ等

##### (b) 兵庫芸術文化センター管弦楽団特設サイト (<https://hpac-orc.jp/>)

楽団の周知及び活動を紹介する。

【内容】演奏会情報、メンバーの紹介、活動紹介、公募情報、最新ニュース等

##### (カ) メールマガジンの発行【月 1 回以上／約 3 万人】

発売日前に発売公演情報等を配信するとともに、随時、臨時号を発行する。

##### (キ) SNS の活用

##### (a) 公式 Twitter アカウント

芸文センターWeb サイト掲載の発売情報やニュース&トピックスなどの情報を拡散する有効な手段として活用する。

##### (b) プロデュースオペラ公式 Twitter アカウント

オペラに特化した情報を配信する。

##### (c) プロデュースオペラ公式 Instagram アカウント

オペラの練習風景などの動画を配信する。

##### (ク) 動画の配信

##### (a) 楽団公式 YouTube の活用

定期演奏会のライブ映像やゲスト奏者の紹介映像を全世界に発信し、楽団及び楽

団員の活動を紹介するとともに、国内外の優秀な若手演奏家の楽団入団を促進

③ 芸術文化センター先行予約会員制度（無料会員）

【特典】 チケット先行発売（価格割引なし）インターネット購入  
会報誌（先行予約会員 NEWS）・公演チラシ送付  
情報誌「ひょうご舞台芸術」送付

【会員数】 60,477人（県内 34,882人・県外 25,595人 [令和6年1月16日現在]）

④ チケット販売体制

（ア）チケットオフィスの運営

プレイガイドの電話受付が縮小する中、インターネット環境のない人に対応するため、他の劇場では類を見ない充実した電話受付体制を取るとともに、柔軟な増員対応で電話受付や窓口の混雑緩和を図り、顧客満足度向上を図る。

電話受付の通話録音及び音声自動応答システムにより聞き間違いを防止するなど、サービス品質向上を図るとともに、混雑時でもつながりやすいように問い合わせ専用の電話窓口を設ける。

（イ）チケット販売・会員管理システムの運営

チケット発売日のアクセス集中時でも安定稼働し、利用しやすいオンラインシステムを目指すとともに、「改正個人情報保護法」に対応したセキュリティ対策を講じる。

（2） 主催事業と連動した普及事業等

主催事業の制作過程や事業内容を観客にわかりやすく理解を深め楽しめるものとするため、楽団の公開リハーサルや芸術監督プロデュースオペラのワークショップ等を実施

① 公開リハーサル

（ア） 佐渡芸術監督プロデュースオペラ

「蝶々夫人」公開リハーサル（KOBELCO 大ホール）

【日程】 令和6年7月9日（火）、10日（水）

（イ） 楽団「定期演奏会」公開リハーサル（KOBELCO 大ホール）

定期会員を対象に「定期演奏会」の公開リハーサルを実施 [各1回、計9回]

② ワークショップ

オペラ創造ワークショップ「蝶々夫人」の制作アトリエ（KOBELCO 大ホール）

【日程】 令和6年7月11日（木）

【登壇者】 佐渡裕（指揮・芸術監督） ほか

③ バックステージツアー

一般の方を対象に、普段、目にするのでできない劇場の舞台裏や舞台機構、公演準備作業の様子などを案内する見学会を開催

内 容		開催日
兵庫県立芸術文化センターのなるほどバックステージツアー2024		
第1回	なるほど「KOBELCO 大ホール」編	6. 6. 11 (2回)
第2回	夏休みの「わくわく探検隊ツアー」	6. 8. 7 (2回)
第3回	なるほど「PAC オーケストラ」編	6. 9. 25 ～9. 26 (2回)
第4回	なるほど「阪急中ホール」編	6. 10. 22 (2回)
第5回	なるほど「建物と仕事人」編	6. 11. 26 (2回)
第6回	なるほど「神戸女学院小ホール」編	7. 1. 21 (1回)
合 計		6事業 11回

④ 企画展示（共通ロビー情報コーナー「ポッケ」）

（ア）バレエ・コレクション企画展示（年2回）

故薄井憲二氏（舞踊家、日本バレエ協会元会長）の貴重なバレエ・コレクションを活用し、その全貌を紹介することでバレエの歴史を概観する。

（イ）主催事業関連企画展示

自主企画公演等と連動した展示を行い事業の効果的なPRを図る。

【時 期】令和6年7月（プロデュースオペラ「蝶々夫人」）ほか

⑤ 薄井憲二バレエ・コレクション

故薄井憲二氏が世界各地から収集した世界有数の規模を誇るバレエ関連資料（書簡、プログラム、絵画・ポスター、書籍等約6,500点）、同バレエ・コレクションの概要、展示情報などをインターネットで配信するとともに、美術館等での展示やバレエ公演のパンフレットのために貸し出す。

（3）ひょうごプレミアム芸術デーの開催

県民の芸術文化に触れる機会を充実するため、県立芸術文化施設の無料開放や、特別イベントを実施するひょうごプレミアム芸術デーを開催

実施日：令和6年7月27日（土）

内 容：施設の無料開放、特別イベントの実施

#### 4 施設の管理運営事業（発表・交流の場の提供）

##### 施設運営の基本コンセプト

- ① 発信する劇場としてセンター・楽団自主企画事業を中心に運営
- ② 専門性の高い劇場（機能・設備・スタッフ）の特性が生かされる舞台芸術公演の利用促進
- ③ 県民の多様な創造活動の発表の場、劇場空間への親しみ・交流機会を通じて芸術文化の裾野拡大
- ④ フレキシブルで使い勝手の良い運営、開放性と賑わいで街づくりの一翼を形成

#### （1）施設の管理運営

##### \*施設利用（貸館）受付の状況

（i）本格的舞台芸術公演の優先利用受付（18か月前受付）

毎月1日から18か月後の月分を受付

（ii）一般（貸館）利用受付

a ホール（12か月前受付）

毎月1日に翌年度の当該月分を受付。受付開始後は4か月前の末日までに随時受付

【ホール利用計画】令和6年4月～令和7年3月（令和6年3月現在）

ホール	開館日数		利用日数		利用日数内訳	
	基準	計画	基準	計画	主催事業	貸館事業
					計画	計画
KOBELCO 大ホール	290	305	203 (70%)	292 (143.8%) [95.7%]	224 [76.7%]	68 [23.3%]
阪急 中ホール		296		240 (118.2%) [81.1%]	182 [75.8%]	58 [24.2%]
神戸女学院 小ホール		296		290 (142.9%) [98.0%]	62 [21.4%]	228 [78.6%]

※ 基準：県収支枠組における施設維持管理費、スタッフ配置、施設使用料収入の算定基礎としたもの

※ 利用日数の( )内：利用日数（基準）と比較した利用率、[ ]内：開館日数（計画）と比較した利用率

※ 利用日数内訳の[ ]内：利用日数（計画）と比較した利用率

b スタジオ、リハーサル室（3か月前受付）

毎月1日に3か月後の月分を受付。受付開始後は、前日まで随時受付。

##### \*舞台芸術専門スタッフによる公演サポート（創造支援）

舞台技術（舞台、音響、照明）専門スタッフをはじめ各部門の専門スタッフにより、施設利用者の創作・発表を企画段階から様々な角度より支援する。

#### ① 人材育成

##### （ア）舞台技術関係者等の育成

舞台技術の現場に携わるスタッフや舞台技術専攻学生等を対象に、センターの舞台設備を活用して、劇場のあり方・技術向上の観点から舞台技術を継承・発展、創造活動支援を促進（舞台技術セミナー 9月以降）

(イ) **アートマネジメント関係の人材育成**

将来を担う人材育成のための実践的なセミナーなどを業界関係者や大学等と連携して実施

- a アートマネジメント講座の開催（2～3月）  
アートマネジメントに必要な専門的知識・技術の習得を目的として開催
- b 大学でのアートマネジメント講座  
大学「アートマネジメント講座」への講師派遣（通年）  
大阪芸術大学、武庫川女子大学
- c トライやる・ウィーク 中学2年生受入（5月～6月）
- d 社会人研修受入
- e 芸術文化観光専門職大学の臨地実務実習受入

② **地域連携・にぎわいづくり事業**

(ア) **プロデュースオペラ「蝶々夫人」前夜祭（再掲）**

「蝶々夫人」のロングラン公演の成功を祝い開催

【時 期】令和6年7月11日（木）

【内 容】①「蝶々夫人」関連ミニコンサート  
②参加者全員での「にしきたずっと節」ほか

【主 催】西北活性化協議会

(イ) **<LALALAにしきたミュージシャン・コンテスト2024（第17回）>**

“にしきたを音楽の街に”をテーマに、街のアーティストの活動支援を行う。

【時 期】令和6年11月1日（金）（阪急中ホール）（決戦）

（予選：令和6年9～10月実施）

【内 容】ジャズ・クラシック・軽音楽・コーラス等

【主 催】西北活性化協議会

(ウ) **クリスマス・イベント**

【時 期】令和6年12月（芸術文化センター1階メインエントランス）

【主 催】西北活性化協議会

**\* 地元企業との連携**

県内外からのお客様へのホスピタリティの向上の一環として、常日頃から関係の深い地元企業職員をホールに招き相互研修会を開催（阪急タクシー、阪急西宮北口駅）

(2) **公立ホール等との連携**

① **公立文化施設協議会等**

兵庫県公立文化施設協議会（加盟40ホール）会長（事務局）、全国公立文化施設協会近畿地区、多面・大規模舞台劇場協議会、劇場、音楽堂等連絡協議会メンバーとして県内外ホール間の連携を深める。

② **公共劇場舞台技術者連絡会**

公共劇場舞台技術者連絡会（公立の劇場やホールで舞台芸術を支える劇場技術者が連携して平成21年設立：加盟21ホール）の副会長として、舞台技術員が参画し、各劇場間の諸問題の調査研究、情報交換等を通して、公演の円滑な進行管理と安全確保、技術的専門性の確立を目指す。

### ③ 主な全国の公立ホール整備への支援

センター職員の委員就任や視察受入、講演等を通じてアドバイス。

[参考] ・仙台市（宮城県）：「兵庫・芸術文化センター」をモデルに復興のシンボルとして「新音楽ホール」整備をめざし、平成 29 年に「音楽ホール検討懇話会」を設置。令和 4 年、音楽ホールと中心部震災メモリアル拠点との複合整備と、青葉山交流広場への立地を発表し、現在懇話会で検討中。

・堺市（大阪府）：旧市民会館にかわる「フェニーチェ堺」（堺市民芸術文化ホール）を新設。平成 28 年度建設工事着手。令和元年 10 月 1 日オープン。

・枚方市（大阪府）：老朽化した市民会館に替わる「総合文化施設」（枚方市総合文化芸術センター）を整備。平成 27 年 2 月に公募型プロポーザル方式により設計事業者選定。平成 27 年度設計業務着手。平成 29 年度着工、令和 3 年 8 月 30 日オープン。

・高槻市（大阪府）：老朽化した市民会館の建替。平成 27 年度基本計画策定。平成 28 年度設計業務。令和元年度建設工事着手、令和 5 年 3 月 18 日オープン。

・姫路市：姫路市文化事業の推進のため、姫路駅東側のキャスティ 21 イベントゾーン内に「知と文化・産業の交流拠点」をコンセプトに文化コンベンション施設を整備。「姫路市文化コンベンションセンターアクリエ姫路」として令和 3 年 9 月 1 日オープン。

・札幌市：札幌市の文化事業振興のため、平成 30 年に完成した札幌文化芸術劇場に導入する舞台機構のシステム構築に係る助言を求められ、舞台機構アドバイザーとして当センターの舞台技術の専門職員を意見交換会に派遣（平成 29 年度）。

・養父市：職員が専門委員に就任。令和 3 年 9 月 14 日オープン。

\* その他、全国から視察を受入（令和 4 年度：鳥取県文化振興財団、広島県庁、宮城県庁、いわき芸術文化交流館、静岡県議会、淡路教育事務協議会、東京都港区議会、仙台市議会、秋田県庁、令和 5 年度：仙台市役所、長野県議会）

### (3) 各ホールネーミングライツ・スポンサー

【愛称の使用期間】

令和 5 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで（3 年間） \* 6 期目

【ネーミングライツスポンサー及び愛称】

正式名称	ネーミングライツスポンサー	愛称	金額
大ホール	株式会社神戸製鋼所	KOBELCO 大ホール	3,000 万円（税抜）
中ホール	阪急電鉄株式会社	阪急中ホール	1,500 万円（税抜）
小ホール	学校法人神戸女学院	神戸女学院小ホール	500 万円（税抜）

（主な表示物）看板、ポスター、チラシ、会報誌、情報誌、広告、ホームページ、チケット

### (4) 賛助会員制度及び各種助成制度の活用等

#### ① 賛助会員制度

芸文センター及び楽団活動を支援してもらうため、芸術文化に関心を寄せる地元企業を中心に賛助会員を募る。（令和 6 年 1 月現在 16 社）

【実績】賛助会員の種別

- ・特別賛助会員
  - ゴールド会員 年額 300 万円（1 社）
  - シルバー会員 年額 100 万円（3 社）
- ・一般賛助会員（1 口） 年額 5 万円（12 社 26 口）

#### ② 各種助成制度

県補助金をベースに経営効率を高めるとともに、ファンの期待に応えるメニュー充実、舞台グレードアップ、公演数拡大、広報強化等の資金として、文化庁や民間財団等の公的助成の積極的な獲得に努める。

\*（独法）日本芸術文化振興会 劇場・音楽堂等機能強化推進事業、舞台芸術創造活動活性化事業 ほか

### ③ 民間支援の受入れ（主なもの）

- (ア) NPO法人イエロー・エンジェル（理事長：宗次徳二氏・名古屋市）によるコントラバスの無償貸与  
コントラバス名：ヤナリス・ガリアーノ（1776年・イタリア製）ほか
- (イ) 株式会社松尾楽器商会からピアノ「スタインウェイ」1台を無償貸与

### ④ 多額寄附金の活用

#### (ア) 三村正之氏からの寄附

兵庫県立芸術文化センター管弦楽団をはじめとした、新進音楽家の活動支援及び次世代を担う子どもたちの音楽体験活動を支援。

金額 50,000 千円「Aloha Mimura 基金（兵庫県立芸術文化センター音楽振興資産）」として管理・運営。H29 から5年を目途に音楽事業活動に充当。

#### (イ) スーパーキッズ・オーケストラ事業推進資産（再掲）

サントリーホールディングス（株）がスーパーキッズ・オーケストラの設立趣旨や東日本大震災復興祈念活動に賛同して寄附（平成26年度）いただいた150,000千円を原資に東北への訪問、合宿等の事業活動（平成27年度から10年間）を展開（サントリー「東北サンさんプロジェクト」）、令和6年度以降も同事業への支援を予定。

#### (ウ) ふるさとひょうご寄附金「県立芸術文化センター応援プロジェクト事業」

兵庫県の「ふるさとひょうご寄附金」に「県立芸術文化センター応援プロジェクト」のメニューを設けており、集まった寄附金を原資として、障がいのある方、高齢者、妊婦の方など誰もが快適に舞台芸術を楽しんでいただけるよう、手すりやベンチの設置などより利用しやすい施設づくりに活用。

### (5) 中長期的取り組み

#### (ア) 芸術文化センター運営委員会

センターの運営について、運営委員会を開催し、事業の中長期的企画、事業展開、施設運営全般に関して経営面など幅広い観点から検討・意見交換を行う。

【時期】年1回（調整中）

【委員】学識者、舞台芸術の専門家、マスコミ・経済界のリーダー、センター関係者等

#### (イ) 次年度以降の事業計画づくり

多彩な舞台芸術を創造・発信していく芸術文化センター及び同管弦楽団の次年度以降の事業展開に向けて、芸術監督とともに長期的な計画づくりを進め、企画検討、事前調査、出演者等の交渉・調整、プランの作成、舞台の制作準備など、事業準備を行う。

## 5 その他、施設利用者の利便向上への取り組み（収益事業）

- ・有料駐車場の運営（時間貸、収容台数 約100台）
- ・レストランスペースの貸出
- ・関連グッズのショップ設置・運営

## 〔尼崎青少年創造劇場の管理・運営（概要）〕

### 1 ピッコロシアター鑑賞劇場

県民文化の高揚と地域文化の振興を図るため、演劇、伝統芸能など優れた舞台芸術を紹介する鑑賞劇場8事業を開催する。

- (1) 文学座公演「撮」（作：瀬戸口郁 演出：西川信廣 R6.11.9（土）～10（日））
- (2) ベイビー・プログラム（乳幼児と家族向け）  
「ヒョーゲンアソビノバ」（R6.7.13（土））、「ビーンズ・ドリーム」（R6.9.27（金））
- (3) 桂米朝一門による「ピッコロ寄席」（5席）

### 2 2024 ピッコロフェスティバル

開館記念日のある8月に演劇や音楽等の成果発表の場として施設を無償提供するとともに、舞台芸術に親しむことができるワークショップ等の企画を実施する。

### 3 ピッコロ劇団事業

令和6年度は県立ピッコロ劇団創立30周年を迎えることから、これにふさわしい多彩な舞台公演を開催するとともに、視覚・聴覚障害者の劇場へのアクセシビリティを高める鑑賞サポートを継続する。また、演劇学校のほか高等学校等の教育機関において演劇指導等の人材育成事業を展開する。

- (1) 第79回公演「あしあとのおと、ものがたり」  
R6.5.31（金）～6.2（日）、8（土）～9（日）  
（作：山本正典（コトリ会議）／演出：原竹志）
- (2) ファミリー劇場「さらって行ってよ ピーターパン」  
R6.8.3（土）～4（日）（大ホール）R6.12.21（土）～22（日）（県立芸術文化センター阪急中ホール）  
（作：別役実／演出：眞山直則／音楽：谷川賢作）
- (3) 第80回公演「宇宙に缶詰」  
R6.9.14（土）～16（月祝）、18（水）  
（作：肥田知浩（第8回近松賞受賞作）／演出：サリ ngROCK（突劇金魚））
- (4) 第81回公演ピッコロシアタープロデュース「神戸 わが街」  
R7.2.21（金）～23（日）（県立芸術文化センター阪急中ホール）  
（ソートン・ワイルダー作『わが町』より 潤色：別役実・ピッコロ劇団／演出：吉村祐樹）
- (5) わくわくステージ（中学生のための演劇鑑賞体験事業）  
春期「あしあとのおと、ものがたり」（作：山本正典（コトリ会議）／演出：原竹志）  
秋期「さらって行ってよ ピーターパン」（作：別役実／演出：眞山直則／音楽：谷川賢作）
- (6) おでかけステージ（小学校公演）R6.10～11  
「学校ウサギをつかまえろ」（原作：岡田淳／台本：眞山直則／演出：吉村祐樹）

### 4 人材育成・体験活動事業

- (1) ピッコロ演劇学校（本科（40名）、研究科（20名））、舞台技術学校（30名）の運営
- (2) ピッコロシアター文化セミナー&文化セミナーラボ  
〔文化セミナー〕<103>「舞台芸術と私」（仮題）R6.7.13（土）出演＝玉岡かおる（作家）  
〔文化セミナーラボ〕これまでピッコロシアターに馴染みのなかった層にも理解者・ファンを広げるため、舞台芸術の周辺での興味深いテーマを扱う、小規模の実験的なセミナーを3回開催する。
- (3) ピッコロ実技教室  
「ちょっと！狂言～入門編～」や「40歳からのワンコイン演劇講座」、「ピッコロオペラ教室」など伝統芸能や演劇等の体験的学習、解説をまじえた実技教室を開催し、舞台芸術への関心を高め、将来の鑑賞者の育成を図る。
- (4) ひょうごプレミアム芸術デー  
文化セミナーやベイビー・プログラムを開催し芸術文化に親しむ機会を提供する。

### 5 施設の管理運営事業

コロナ禍以降、徐々に劇場利用者数は回復している（R2年度29,120人→R6.1末79,161人）。引き続き、新貸館予約システムの円滑な運用など、安全・安心で快適に利用できる施設の管理運営に取り組む。

## 〔尼崎青少年創造劇場の管理・運営（詳細）〕

尼崎青少年創造劇場は、①地域における文化創造の芽を育む舞台芸術創造活動の場の提供、②「子どもと楽しむ落語会」等伝統芸術系の青少年・子ども向け事業の展開、③「県立ピッコロ劇団」による良質な演劇を通じた感動の提供、④ピッコロ劇団員による学校現場等における表現活動の普及、⑤「ピッコロ演劇学校・舞台技術学校」の運営による人材育成、⑥演劇等舞台芸術関係資料の閲覧・提供等を通じた県民の自主的な文化活動の促進に、重点的に取り組むとともに、県民にとって安全・安心、快適な施設を目指して、親切かつ効率的な運営を心がける。

### 1 ピッコロシアター鑑賞劇場

県民文化の高揚と地域文化の振興を図るため、演劇、伝統芸能などの優れた舞台芸術を紹介する鑑賞劇場を開催する。また、毎年恒例の子どもと大人が一緒に楽しめる落語会など、明日のひょうごを担う子どもたちに伝統ある舞台芸術にふれる機会を提供する。

#### 令和6年4月～7年3月ラインナップ〔8事業（演劇3、落語5）〕

事業名	公演年月日	出演者等
ピッコロ寄席「塩鯛 米紫 二人会」 (大ホール)	6.5.25(土)	出演＝桂塩鯛、桂米紫、桂二豆
ベイビー・プログラム 「ヒョーゲンアソビノバ」 (中ホール)	6.7.13(土)	出演＝調整中
ピッコロ寄席 桂枝雀一門「南光・ 雀三郎・文之助 三人会」 (大ホール)	6.8.17(土)	出演＝桂南光、桂雀三郎、桂文之助ほか
ベイビー・プログラム くわえ・ぱぺっとステージ 「ビーンズ・ドリーム」 ～まめちゃんのゆめ～ (中ホール)	6.9.27(金)	作・演出＝つげくわえ
文学座公演 「摂」 (大ホール)	6.11.9(土) 10(日)	作＝瀬戸口郁 演出＝西川信廣 出演＝新橋耐子、富沢亜古 ほか
ピッコロ寄席「桂吉朝一門会」 (大ホール)	6.12.14(土)	出演＝桂あさ吉、桂吉弥 ほか
ピッコロ寄席「桂米團治独演会」 (大ホール)	7.2.2(日)	出演＝桂米團治 ほか
ピッコロ寄席 「子どもと楽しむ落語会」 (大ホール)	7.3.8(土)	出演＝桂吉弥 ほか
合 計 8事業		

## 2 2024 ピッコロフェスティバル

開館記念日（8月19日）を含む8月の1か月間、地域で創造活動に取り組む若者たちの演劇、音楽などの成果発表と交流の場として、施設を無償提供するとともに、鑑賞や体験等を通じた舞台芸術に親しむ機会とするため、県民の参加と協働による「ピッコロフェスティバル」を開催する。

【時期】 令和6年8月1日（木）～8月31日（土）

【場所】 ピッコロシアター各ホール、閲覧室など

【事業内容（予定）】

区分	内容
県民参加企画	参加団体を公募して開催 *演劇：小・中・高校の部、大学・一般の部 (舞台施設・設備を無償提供)
地域団体連携企画	〈阪神間など地域の文化団体組織と連携〉 「人形劇フェスタ阪神」「バリアフリーコンサート」 〈高校演劇研究会阪神支部と連携〉 高校生向け演劇ワークショップを開催 (企画運営は団体、舞台施設・設備を無償提供)
体験企画	〈伝統芸能〉 大蔵流狂言方を講師に招いての「ちやっと！狂言～入門編～」を開催 〈コミュニケーション力・表現力〉 新聞記事を題材にした「まわしよみ新聞&演劇ワークショップ」 〈演劇〉 中高年を対象にした「40歳からのワンコイン演劇講座」 〈音楽〉 オペラの解説・リハーサル見学等の体験機会を提供する「オペラの楽しみ方」を開催（関西二期会オペラ研修所研修生によるオペラ公演を同時開催）
特別企画	〈ピッコロフェスティバルの期間中の開催〉 ピッコロ劇団ファミリー劇場公演「さらって行ってよ ピーターパン」 ピッコロ寄席など
協賛企画	関係団体による演劇・ワークショップの開催

## 3 県立ピッコロ劇団事業

### (1) ピッコロ劇団公演

優れた舞台芸術の創造と地域文化の振興を図るため、令和6年度設立30周年を迎えた県立ピッコロ劇団を運営し、ピッコロシアターでの多彩な舞台公演（本公演、ファミリー劇場など劇場へのアクセシビリティを高める鑑賞サポートを継続）や演劇学校のほか高等学校等の教育機関において演劇指導等人材育成事業を展開する。

また、第2の活動拠点である県立芸術文化センター（西宮市）では12月にファミリー劇場公演を、2月には関西の演劇人との共同製作によるプロデュース公演を上演する。

劇団代表： 岩松 了 劇作家・演出家・俳優  
 第33回岸田國土戯曲賞、第28回紀伊國屋演劇賞個人賞、  
 第49回読売文学賞、第21回鶴屋南北戯曲賞、平成30年度兵庫県  
 文化賞を受賞  
 客 員： 鶴山 仁（演出家＝前新国立劇場演劇芸術監督・文学座）  
 喜志 哲雄（演劇評論家・京都大学名誉教授）  
 杉本 了三（演劇プロデューサー）  
 内藤 裕敬（劇作家・演出家・俳優＝南河内万歳一座）  
 劇 団 員： 35名（男19名 女16名）（令和6年2月末現在）

ピッコロ劇団公演ラインナップ

※はピッコロ劇団員

事業名	公演年月日	出演者等
オフシアターVol. 40 「パレードを待ちながら」 (中ホール)	6. 4. 12 (金) ～14 (日) (5公演)	作＝ジョン・マレル 訳＝吉原豊司 演出＝中島深志 (※) 出演＝ピッコロ劇団員
第79回公演 「あしあとのおと、ものがたり」 (大ホール)	6. 5. 31 (金) ～6. 2 (日) 6. 6. 8 (土) ～9 (日) (5公演)	
わくわくステージ (5～6月期) 「あしあとのおと、ものがたり」 (第79回公演と同演目) (大ホール)	6. 5. 31 (金) ～6. 24 (月) (9公演)	作＝山本正典 (コトリ会議) 演出＝原竹志 (※) 出演＝ピッコロ劇団員
わくわくステージ 市町ホール公演 「あしあとのおと、ものがたり」 (第79回公演と同演目) (福崎町エルデホール、赤穂化成ハーモニーホール 大ホール)	6. 6 (2公演)	
ファミリー劇場 「さらって行ってよ ピーターパン」 (大ホール)	6. 8. 3 (土) ～4 (日) (4公演)	作＝別役実 演出＝眞山直則 (※) 音楽＝谷川賢作 出演＝ピッコロ劇団員
わくわくステージ (11～12月期) 「さらって行ってよ ピーターパン」 (ファミリー劇場と同演目) (大ホール)	6. 11. 29 (金) ～12. 6 (金)	12月公演 オーディションによる子ども達 が出演予定
ファミリー劇場 「さらって行ってよ ピーターパン」 (県立芸術文化センター阪急中ホール)	6. 12. 21 (土) ～22 (日) (3公演)	
第80回公演 (尼崎市・尼崎市文化振興財団との共催) 尼崎市第8回「近松賞」受賞作 「宇宙に缶詰」 (大ホール)	6. 9. 14 (土) ～16 (祝月) 18 (水) (6公演)	作＝肥田知浩 演出＝サリ ngROCK (突劇金魚) 出演＝ピッコロ劇団員
おでかけステージ (小学校公演) 「学校ウサギをつかまえろ」 (小学校体育館等)	6. 10～11 県内の小学校等 での上演	原作＝岡田淳 台本＝眞山直則 (※) 演出＝吉村祐樹 (※) 出演＝ピッコロ劇団員
第81回公演 ピッコロシアタープロデュース 「神戸 わが街」 (県立芸術文化センター阪急中ホール)	7. 2. 21 (金) ～23 (日) (5公演)	ソートン・ワイルダー作『わが町』より 潤色＝別役実・ピッコロ劇団 演出＝吉村祐樹 (※) 出演＝ピッコロ劇団員ほか 劇団員のほか、関西俳優 陣が出演予定
合計10事業 【本公演3本、ファミリー劇場2本、オフシアター、わくわくステージ2本、 同市町公演、おでかけステージ】		

(注)「わくわくステージ」：ピッコロ劇団による中学生向け演劇鑑賞体験事業

(参考) 鑑賞サポートの取組

ファミリー劇場・わくわくステージなどにおいて、ピッコロ劇団員の参画のもとに、多様なアクセシビリティに配慮した鑑賞サポートの取組を継続して進めていく。

《取組例》

- ・ 視覚障害者向けに音声ガイド付き公演  
(R6：わくわくステージ(5～6月期)、第79回公演で実施予定)
- ・ 聴覚障害者向けに公演の音声情報をバリアフリー字幕表示(タブレット配布又は舞台上で表示)  
(R6：わくわくステージ(11～12月期)、ファミリー劇場(12月)で実施予定)
- ・ バックステージ解説での手話通訳
- ・ 視覚障害者に事前に舞台の立体図(触図)に触れてもらう
- ・ 公演台本・ヒアリングループ・骨伝導補聴器の貸出
- ・ 受付での手話通訳、筆談対応等

(2) 演劇指導(演劇ワークショップ)など

ピッコロ演劇学校(本科・研究科)、県立宝塚北高校(演劇科)をはじめとした大学、高校等、県立教育研修所、兵庫県自治研修所等へ劇団員を指導者として派遣するとともに、演劇の裾野の拡大をめざし、演劇・創作活動を身近に感じてもらうため、県内各地でワークショップ等を開催する。小学校などでは演劇ワークショップ「あつまれ!ピッコロひろば」を実施する。併せて、特別支援学校生徒や日本語に不慣れな外国人などへの社会包摂活動につながる演劇ワークショップなどの取組も継続して進めていく。

(3) 外部出演

他劇団、放送局等の依頼を受けて、演劇公演、映画、放送等に出演。

(4) ピッコロサポートクラブへの支援

ピッコロ劇団の活動を地域全体で支援するため、平成8年に尼崎商工会議所等が中心となって設立された後援会組織である「ピッコロサポートクラブ」の活動を支援するとともに、情報誌「i n t o」を共同発行する。

(参考1) ピッコロサポートクラブ会員 337名(令和6年1月末現在)

種類	年会費
法人会員(企業・団体向)	20,000円
個人会員(特別会員)	10,000円
個人会員(A会員)	6,000円
個人会員(B会員)	2,000円
個人会員(J会員高校生以下)	4,000円

[特典]

- ・ ピッコロ劇団公演への招待または入場料割引、先行予約
- ・ 情報誌「i n t o」、稽古場見学会や劇団員との茶話会等の催し物案内の送付
- ・ 演劇、落語会等ピッコロシアター自主事業の入場料割引、先行予約等

(参考2) 情報誌「i n t o」の発行

ピッコロ劇団公演の紹介をはじめ、劇団員の活動、ピッコロシアターでの催し物等の情報を提供する。

\* A5版/20ページ(カラー印刷)/年4回/各3,000～4,000部

## 4 人材育成・体験活動事業

### (1) ピッコロ演劇学校の運営

地域文化を高める演劇創造に参加しようとする若者たちに、夢を与え、表現力や創造力、コミュニケーション力を身につけさせることで、人間性豊かな人材を育成する。

- 【期 間】 令和6年4月～7年3月  
【場 所】 ピッコロシアター  
【授 業】 原則として毎週2回(火・木の夜間)と年数回の特別講義  
特別講師：岩松 了、平田 オリザ、鐘下 辰男  
【募集人数】 本科40名、研究科20名  
【上演実習】 (本科) 前期発表会、卒業公演[舞台技術学校と合同製作]  
(研究科) 前期発表会、卒業公演

### (2) ピッコロ舞台技術学校の運営

クリエイティブな地域文化のステージづくりと文化施設の活性化のため、舞台芸術を支える美術、照明、音響の舞台技術人材を育成する。

- 【期 間】 令和6年4月～7年3月  
【場 所】 ピッコロシアター、芸術文化センター(学外授業)  
【授 業】 原則として毎週2回(水・金の夜間)と年数回の特別講義  
特別講師：服部 基、山北 史郎、堀尾 幸男  
【募集人数】 美術、照明、音響 計30名  
【上演実習】 クラシックコンサート実習、軽音楽ライブ実習、  
卒業公演[演劇学校本科と合同製作]

### (3) ピッコロ・山根演劇賞の贈呈

ピッコロ演劇学校生及びピッコロ舞台技術学校生のうち成績優秀で他の模範となった者や、ピッコロ劇団員のうち優れた演劇活動を行った者など、優れた演劇活動を行った者に「ピッコロ・山根演劇賞」を贈呈する。(時期：令和7年3月)

### (4) ピッコロシアター文化セミナー&文化セミナーラボ

#### 〔文化セミナー〕

著名な舞台人による講演、専門家による伝統芸術の紹介・解説などの教養講座を開催し、舞台芸術への関心を高め、地域文化の振興を図る。(ピッコロシアター大ホール)

事業名	期日	出演者等
<103>玉岡かおるさんに聞く 「舞台芸術と私」(仮題)	6.7.13(土)	出演=玉岡かおる(作家)

#### 〔文化セミナーラボ〕

従来の文化セミナーに加え、これまでピッコロシアターに馴染みのなかった層にも理解者・ファンを広げるため、舞台芸術の周辺での興味深いテーマを扱う、小規模の実験的なセミナーを開催する。

- 【実施回数等】 年3回(小ホール・閲覧スペースほかで実施)  
【講師】 研究者、まちづくりプロデューサー、新聞記者等

(5) **ピッコロ実技教室**

伝統芸能や演劇等の体験的学習、解説をまじえた実技教室を開催し、舞台芸術への関心を高め将来の鑑賞者の育成を図る。

いずれも、2024 ピッコロフェスティバルの期間中に「体験企画」として実施。

事業名	期日	出演者（指導者）等
40歳からのワンコイン演劇講座	6.8.11（日）	講師：瀬口昌生（大手前大准教授）
まわしよみ新聞&演劇ワークショップ〈壁新聞を演じてみよう〉	6.8.18（日） （予定）	講師：陸奥賢（まわしよみ新聞考案者）、ピッコロ劇団員
ちやっと！狂言～入門編～	6.8.24（土） 25（日）	講師：大蔵流狂言方 善竹隆司 ほか
令和の演劇向上委員会	6.8.27（火）	講師：兵庫県高等学校演劇研究会 阪神支部加盟の教諭（演劇部顧問）ほか
オペラの普及をめざして 関西二期会オペラ研修所と連携 「ピッコロオペラ教室」 「第60期生による修了オペラ」 「コジ・ファン・トゥッテ」 （予定）	オペラの楽しみ方 6.8.30（金）	講師：関西二期会理事
	オペラ公演 6.8.31（土）	関西二期会オペラ研修所 第60期生 ほか

(6) **研修生等の受け入れ**

開かれた劇場として、トライやる・ウィーク、インターンシップをはじめとした研修生（中・高・大学生等）を年間通して内外から受け入れる。

また、県立芸術文化観光専門職大学（豊岡）から大学生を実習先として受け入れる。

(7) **ピッコロ動画配信～コロナ禍から始まった取組～**

ピッコロシアターとピッコロ劇団の事業・公演について、より幅広い客層に関心を持ってもらい、実際に足を運んでもらえるよう、SNSやホームページ等を通じて、劇団員によるPR動画などのコンテンツ配信などに取り組む。

(8) **ひょうごプレミアム芸術デーにおける交流イベントの開催**

7月9日～15日の間、県立芸術文化施設において芸術関連のイベントが開催されることに合わせて、ピッコロシアターでは、7月13日（土）に作家の玉岡かおるさんを招き、ピッコロシアター文化セミナーを開催する。聴覚障害者の鑑賞サポートとして、手話通訳と要約筆記を実施する。併せて、大人も子どもも楽しめる「ヒョーゲンアソビノバ」を実施し、子育てファミリー層の参加を支援する。

(9) **ふれあい文化の祭典 県民文化普及事業の実施**

県域文化団体や地域文化団体協議会の協力を得て、県及び市町とともに県内各地域に様々な文化の普及・振興を図る「ふれあい文化の祭典」の一環として、兵庫県劇団協議会に加盟する劇団道化座（神戸市灘区）の作品を上演する。

(10) **演劇と災害に関するシンポジウム（仮称）の開催**

令和6年度は、ピッコロ劇団創立30周年、阪神・淡路大震災から30年を迎えることから、阪神・淡路大震災や東日本大震災等を契機として立ち上がった舞台芸術団体である「国境なき劇団」等と連携し、演劇と災害に関するシンポジウムを開催する。

## 5 施設の管理運営事業

### (1) 兵庫県立尼崎青少年創造劇場の施設管理

青少年の演劇、音楽、舞踊等の創造活動を促進するとともに、広く県民文化の高揚を図るため設置された「県立尼崎青少年創造劇場（ピッコロシアター）」の指定管理者として、演劇、音楽、舞踊等の舞台芸術の練習・発表の場である劇場内諸施設を提供するほか、鑑賞劇場、文化セミナー等自主事業を適切に実施する。

【所在地】 尼崎市南塚口町3丁目17番8号

【施設】 ・大ホール(客席数396席) ・中ホール(収容200人)  
・小ホール(収容100人) ・楽屋(6室) ・練習室(3室)  
・資料室(閲覧スペース・書庫) ・舞台美術工房 等

(参考) 近年実施した主な施設改修

《R4年度》

- ・大ホール客席誘導灯修繕工事
- ・大ホールワイヤレスマイク設備更新
- ・中ホールスピーカー更新工事
- ・中小ホール搬入口重量シャッターの修理
- ・外部2階エントランス等防水工事

《H29～R3年度》

- ・動画配信のためのWi-Fi整備(各ホール・楽屋・練習室・閲覧室及び別館稽古場)(R3)
- ・ホールのロスナイ(換気システム)の改修(R3)
- ・別館稽古場への換気設備改修(R2)
- ・大ホールホワイエに障害者等対応エレベーターを設置(R2)
- ・展示室を劇場利用者同士の交流が図れる閲覧スペース等に改装、書庫を整備(R1-2)
- ・ホール天井照明のLED化、練習室の防音換気機能向上(R1-2)
- ・小道具等が製作できる舞台美術工房を大ホール地下1階に整備(R1)
- ・トイレの完全洋式化、おむつ交換台、授乳室の設置(H29-R1)

### (2) 情報の提供

#### ① 演劇等舞台芸術関係資料の提供(蔵書数約32,000冊※)

青少年などの幅広い創造活動を支援するため、資料室において、演劇・音楽・舞踊などの舞台芸術専門書等の閲覧・貸出を行い、照会にも迅速に対応する。

※令和2年度にピッコロ劇団初代代表の故・秋浜悟史氏のご遺族からの寄贈蔵書約5,500冊を「秋浜文庫」として受け入れ、書籍の充実を図った。

#### ② ピッコロ・ホームページの運営

より見やすく分かりやすいレイアウトとなるよう工夫するとともに、スマートフォンからのアクセスの改良などを継続し、今後とも情報発信力の充実を図る。

※貸館システム導入により、利用者に対して施設の空き情報をリアルタイムで提供(令和5年12月より)

※URL <https://piccolo-theater.jp>

#### ③ 芸術文化情報コーナーの運営

劇場内2カ所に県内外の芸術文化公演や劇場・劇団の等のチラシ、パンフレットを見やすく配置し、来場者へ多くの芸術文化情報を提供する。

## 〔本部の事業（概要）〕

### 芸術文化の普及・啓発

事業展開の拠点としてきた兵庫県民会館は、現在、県が行っている耐震診断の結果によっては、早ければ令和6年10月以降、利用停止の可能性があることから、事業の時期、場所、内容等を調整しながら、実施する。

#### 1 主催事業

##### （1）芸術文化活動の表彰事業

将来の活躍が期待される優れた音楽家を対象とする「坂井時忠音楽賞」、功績のあった女性洋画家を対象とする「亀高文子記念—赤艸社賞」、地域の伝統文化の継承等に貢献した者・団体を対象とする「ふるさと文化賞」などの表彰事業を実施し、県の芸術文化の高揚を図る。

##### （2）コンクール、展示事業

美術展等を開催し、県民の創作活動を後押しするとともに、作品の展示を通じて世代や分野を超えた人々の交流の場づくりを進める。また、新進美術家による作品展を開催し、発表の機会と県民が気軽に美術鑑賞できる場を提供する。

##### （3）公演事業

小学校・高校や公立文化施設において「県民芸術劇場」を実施し、優れた舞台芸術を身近で鑑賞する機会と県内芸術団体等が地域で活動する機会を提供する。また、新進・若手芸術家の発表の機会と誰もが気軽に鑑賞できる場として、ロビーコンサート、リサイタルを開催する。

##### （4）講座・体験等事業

県民の高い学習意欲に応えるため「兵庫県生活文化大学」を開催し、年間を通じて歴史、美術、音楽等の多彩な分野の講座を実施するほか、県立美術館、博物館等と連携した短期講座を実施する。子どもをはじめ幅広い層の県民が伝統文化を体験できる「伝統文化体験教室」を実施する。

#### 2 芸術文化団体等との連携事業

様々なジャンルの県域芸術文化団体や市町等と連携・協力し、「ふれあい文化の祭典—県民文化普及事業」を展開し、芸術文化のすそ野を拡げていく。7地域の地域文化団体で構成される兵庫県地域文化団体協議会と連携し、地域文化の向上・振興を図る。

#### 3 ひょうごアーティストサロンによる県内アーティストへの支援事業

「ひょうごアーティストサロン」では、県内芸術家を支援するため、芸術文化関係者の交流・連携・相談への対応や芸術家の活動に関する情報の発信を行う。また、新進・若手の芸術家に対しては、作品展、ロビーコンサート、リサイタルの開催のほか、アーティストサロン賞の顕彰等を行う。

#### 4 情報の提供

協会の各施設や関係文化施設、芸術文化団体等の情報を掲載した情報紙「すずかけ」を毎月発行する。ホームページや各種 SNS による発信、YouTube チャンネルでの県内芸術家・団体の活動等の動画配信などを行い、県民の芸術文化への関心を高め、本部事業や各施設等の芸術文化事業への参加を促す。

## 〔本部の事業（詳細）〕

芸術文化協会本部では、協会事業全体の総合調整を行うとともに、芸術文化の普及啓発を推進し、県民文化・地域文化の向上を図るため、①主催事業（表彰、コンクール・展示、コンサート・リサイタル、講座・体験等）、②芸術文化団体等との連携（ふれあい文化の祭典、地域文化団体との協力等）、③ひょうごアーティストサロンの運営、④情報提供の分野において各種事業を展開する。

事業の実施にあたっては、ニーズ等を踏まえたより魅力ある内容となるよう充実に努めるとともに、厳しい財政環境にあることから、事務の改善、寄附金等の活用を引き続き図っていく。

### 1 主催事業

#### （１） 芸術文化活動の表彰事業

##### ① 第４３回ふるさと文化賞の贈呈

地域において永年にわたり、伝統文化の継承、ふるさと文化の高揚に多大な貢献をされた個人、団体を顕彰するため、「ふるさと文化賞」を贈る。

【件数】 ３件以内

##### ② 亀高文子記念—赤艸社賞<sup>せきそうしゃ</sup>の贈呈

絵画の創作を通じて、県民文化の高揚に功績のあった女性洋画家を顕彰する「亀高文子記念—赤艸社賞」を贈る。

【件数】 ２件以内

【副賞】 ２０万円

##### ③ 坂井時忠音楽賞の贈呈

県内における音楽活動に優れた業績をあげ、かつ、将来の活躍が期待される音楽家を顕彰する「坂井時忠音楽賞」を贈る。

【件数】 ２件以内

【副賞】 ３０万円

##### ④ ひょうごアーティストサロン賞の贈呈

ひょうごアーティストサロンの事業に積極的に参加し、将来一層の活躍が期待される新進・若手芸術家等を顕彰するため「ひょうごアーティストサロン賞」を贈る。

【件数】 ３件以内

#### （２） コンクール、展示事業

##### ① 第３０回兵庫ふれあい美術展

日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真作品による美術展を開催する（調整中）。

【会期】 令和６年１２月２０日（金）～２２日（日）

【会場】 原田の森ギャラリー

##### ② 第６１回 ２０２４県展

絵画、彫刻・立体、工芸、書、写真、デザインを公募し、優秀作品を表彰する。

【会期】 令和６年８月３日（土）～１７日（土）

【会場】 原田の森ギャラリー

【共催】 兵庫県・兵庫県立美術館・神戸新聞社

##### ③ 新進美術家作品展（アーティストサロン事業）

県内各美術団体の協力を得て、新進作家を中心とした作品展を開催する。

・ひょうごアーティストサロン内ギャラリー

作品展	開催時期（2ヶ月程度）
兵庫二紀会選抜展	4月～5月
兵庫県写真作家協会新進作家選抜展	6月～7月
兵庫県美術家同盟新進作家展	8月～9月

10月以降は調整中

・兵庫県民アートギャラリー特別展示室

作品展	開催回数等
新進美術作家作品展（写真）	9月（5日間）

10月以降は調整中

・兵庫県民アートギャラリー大・中展示室

作品展	開催時期
兵庫県美術作家交流展	調整中

### （3） 公演事業

#### ① 県民芸術劇場

小学生・高校生、一般県民が優れた舞台芸術を身近に鑑賞し、県内芸術団体等が活動する機会として県民芸術劇場を開催する。

【時期】 通年

種別	開催場所	公演数(前年度)	公演内容
一般公演	市町文化会館等	11(13)	オーケストラ、室内楽、声楽、打楽器、演劇、ミュージカル、人形浄瑠璃、能楽、落語等
学校公演	小学校 高等学校等	75(60)	
合計		86(73)	

#### ② 県民会館ロビーコンサート（アーティストサロン事業）

兵庫県民会館のロビーを活用した新進・若手アーティストのコンサートを開催する。

【時期】 原則毎月第2土曜日（10月以降は調整中）

【会場】 兵庫県民会館1階ロビー

#### ③ 県内芸術家ロビーコンサート（アーティストサロン事業）

県・市町の文化施設等における新進芸術家等によるロビーコンサートを実施し、発表と鑑賞の機会を創出する。

【回数】 20公演程度

【会場】 県市町文化施設

#### ④ 新進芸術家育成プロジェクト・リサイタルシリーズ（アーティストサロン事業）

兵庫県出身、在住、在勤、在学で芸術文化活動をする概ね45歳未満の個人及び団体で、今後の活躍が期待される新進芸術家に発表の場を提供する。

また、兵庫県いけばな協会の協力により、会場にいけばなを飾り、伝統文化の紹介に資する。

【回数】 年7回程度

【会場】 兵庫県民会館けんみんホール（10月以降は調整中）

(4) 講座・体験等事業

① 兵庫県生活文化大学

日々の暮らしに喜び、感動を求め、歴史や文化に深い関心を寄せる県民の学習意欲に応えるため、多彩な講座で構成する兵庫県生活文化大学を開催する。

講座名		開催地・会場	期間・回数	
通 年	神戸校	文化財 (県立美術館「芸術の館友の会」)	4～2月 8回	
		考古学 (県立考古博物館)	4～2月 8回	
		日本美術 (県立美術館「芸術の館友の会」)	4～2月 8回	
		西洋美術 (県立美術館「芸術の館友の会」)	4～2月 8回	
		ふるさとの歴史 (県立歴史博物館 ひょうご歴史研究室)	4～2月 8回	
		音楽鑑賞 (兵庫県音楽活動推進会議)	5～3月 8回	
通 年	明石校	ふるさとの歴史 (明石市) (県立歴史博物館)	明石市 明石市生涯学習センター	4～2月 8回
	姫路校	ふるさとの歴史 (県立歴史博物館)	姫路市 県立歴史博物館	4～2月 8回
短期	展覧会特別鑑賞講座 伝統芸能講座 ふるさとウォーク	神戸市・西宮市 県立美術館 芸術文化センター ほか	4～2月 5回程度	
合計 13講座			69回程度	

② 風土と文化の歴史学講座

田辺真人園田学園女子大学名誉教授を講師に迎え、様々な風土から育まれた多様な文化を歴史的に考察する。

【時 期】 令和6年7月～9月頃 (全3回)

【会 場】 兵庫県民会館けんみんホール

③ 伝統文化体験教室

伝統文化をより深く体験できるよう県公館和風会議室を利用した体験教室を開催する。

【時 期】 令和6年4月～9月

【会 場】 兵庫県公館和風会議室、兵庫県民会館等

【内 容】 能楽、いけばな、三味線、長唄

④ 友の会事業の推進

芸術文化を愛し、こころ豊かな生活文化を育む人々が、芸術文化に関する学習や交流事業を通じて、生きがいつくりと会員相互の交流を図るため、友の会事業を推進する。また、会員数の拡大や会員特典施設の増加・充実等に取り組む。

【名 称】 兵庫県芸術文化協会友の会

【種 類】 個人会員 (会費: 3,000円)

ファミリー会員 (同一世帯・2人まで) (会費: 5,000円)

団体会員 (会費: 10,000円)

【特 典】 ・文化情報紙「すずかけ」の送付 (毎月)

・兵庫県生活文化大学の受講料等割引

- ・美術館・博物館等の入館料割引
- ・提携劇場指定公演チケットの割引など

## 2 芸術文化団体等との連携事業

### (1) 兵庫県地域文化団体協議会への支援

県内7地域の文化団体協議会等と協会で組織する兵庫県地域文化団体協議会の事務局を運営し、情報や課題の共有、共同事業の実施など地域文化の活性化を図る。

#### ① 地域文化団体との共同事業 \*

県内7地域の文化団体協議会等と協力し、地域伝統文化事業をはじめ、各地の自主的な芸術文化事業を開催する。

【対象】地域文化団体7団体

No.	構成団体	事業名
1	阪神南文化振興団体連絡協議会	尼崎藩・尼崎城等をテーマとする講演会と茶道体験
2	阪神北文化振興団体連絡協議会	地域活動団体出演・出展支援事業
3	東播磨文化団体連合会	東播磨文芸誌「東はりま文化子午線」第48号の発行
4	西播磨文化協会連絡協議会	「西播磨地域ふれあい文化交流会」の開催
5	但馬文化協会	但馬文学のつどい「たじま作品集～短詩型文学～第49集の発行
6	丹波文化団体協議会	「日本の文化体験フェスティバル（仮称）」の開催
7	淡路文化団体連絡協議会	「淡路文化の祭り」の開催

#### ② 地域文化を考えるシンポジウム

県内市・町文化協会長等が一堂に会し、シンポジウムを通じて地域の文化活動を語りあい、芸術文化情報の交換と連携の輪を広げ、地域文化の活性化と県民文化の向上を図る。

【時期】 令和6年10月31日（木）

【会場】 丹波の森公苑ホール

【テーマ】 調整中

### (2) 県民文化普及事業 ふれあい文化の祭典 \*

芸術文化団体が、市町及び兵庫県の協力を得て「令和6年度県民文化普及事業—ふれあい文化の祭典」（23事業）として実施するイベント等について、事務調整、広報、観客誘致等を担当し、協力・支援する。

No.	事業名	関係文化団体	会場（市町）
1	兵庫県交響楽祭	兵庫県オーケストラ協議会	小野市
2	ひょうごブラスフェスティバル	兵庫県吹奏楽連盟	西宮市
3	ひょうご吟剣詩舞道祭	兵庫県吟詠連盟、 兵庫県吟剣詩舞道総連盟	明石市
4	ひょうご日本民謡フェスティバル	日本民謡民舞兵庫県連合会	神戸市
5	音楽とダンスの祭典 in Hyogo	兵庫県ダンススポーツ連盟	神戸市
6	ひょうご演劇祭	兵庫県劇団協議会	尼崎市
7	ひょうご名流舞踊の会	兵庫県舞踊文化協会	神戸市
8	ひょうご洋舞フェスティバル	兵庫県洋舞家協会	西宮市

No.	事業名	関係文化団体	会場（市町）
9	兵庫短歌祭	兵庫県歌人クラブ	調整中
10	兵庫県川柳祭	兵庫県川柳協会	調整中
11	詩のフェスタ ひょうご	兵庫県現代詩協会	神戸市
12	全国手工芸コンクール in ひょうご	兵庫県婦人手工芸協会	神戸市
13	兵庫県いけばな展（神戸展）	兵庫県いけばな協会、 兵庫県いけばな芸術文化振興会議	神戸市
14	兵庫県いけばな展（地域展）	兵庫県いけばな協会、 兵庫県いけばな芸術文化振興会議	川西市
15	ひょうご大茶会	兵庫県茶道協会	神戸市
16	ひょうご邦楽の祭典	兵庫県箏絃連盟	西宮市
17	ひょうご民俗芸能祭	兵庫県伝承民俗芸能文化協会	高砂市
18	アンサンブル・フェスティバル兵庫	兵庫県音楽活動推進会議	西宮市
19	和太鼓フェスティバル in 兵庫	兵庫県太鼓連盟	丹波篠山市
20	兵庫ふれあい美術展	（公財）兵庫県芸術文化協会	神戸市
21	東播磨文化フェスティバル	東播磨文化団体連合会	加東市
22	西播磨文化フェスティバル	西播磨文化協会連絡協議会	佐用町
23	丹波文化フェスティバル	丹波文化団体協議会	丹波市

### （３） 舞台芸術鑑賞機会創出事業

県内の文化施設において、音楽・演劇等の有料公演を行う際に一定数を学生向けに無料で開放し、コロナ社会で減少した子どもの舞台鑑賞機会や県内アーティストの活動機会を創出する舞台公演を支援する。

【採択件数】 30公演程度                      【対象経費】 公演料  
【助成額】 1公演あたり500千円上限

### （４） 芸術文化団体等の事業への支援

県内で開催される文化振興に寄与する事業を支援するとともに、優秀作品に兵庫県芸術文化協会賞を贈る。

【後援名義】 年間約250団体

### （５） 兵庫県文化賞受賞者懇話会への支援

兵庫県文化賞受賞者で構成される、兵庫県文化賞受賞者懇話会の事務局運営等の支援を通じて、芸術文化の振興を図る。

注）＊印の2事業は「当初収支予算書内訳表」の収益事業等会計に分類されるもののうち「その他の事業（芸術文化団体との連携事業）」に区分される事業

## 3 ひょうごアーティストサロンによる県内アーティストへの支援事業

ひょうごアーティストサロンに芸術文化コーディネーターを置いて、新進・若手アーティスト等に対する相談・助言や、発表の機会と場の提供などをより積極的に行うことにより、新進・若手アーティストの育成支援と地域における芸術文化活動のさらなる活性化を図る。また、新進・若手アーティストの育成支援等に役立てる募金の呼びかけにも取り組む。

### （１） 芸術文化関係者の交流・連携の促進

様々な分野の芸術文化関係者がアーティストサロンに集い、出会い、語らいの場として利用されることにより、交流拠点としてのサロン機能を発揮する。

## (2) 相談・助言・斡旋事業の実施

芸術文化情報の収集・発信を通して蓄積した人材情報等に基づき、初心者から若手、中堅を問わず芸術文化活動に関する様々な相談に応じる。

また、県・市町や関係団体が主催するシンポジウム・セミナー・各種大会において、これらの事業に花を添えるような形で、県内のアーティストが参画する「ひょうごさわやかステージ」と冠したミニコンサートやミニ展覧会を斡旋することで、県民により多くの芸術文化に触れる機会を提供する。

## (3) 新進・若手アーティストの育成・支援

- ① 新進美術家作品展（再掲）
- ② 県民会館ロビーコンサート（再掲）
- ③ 県内芸術家ロビーコンサート（再掲）
- ④ 新進芸術家育成プロジェクト・リサイタルシリーズ（再掲）

## 4 情報の提供

### (1) 文化情報紙「すずかけ」の発行

協会の文化情報紙「すずかけ」を発行し、芸術文化への関心を高め、参加を促す。

【内 容】芸術文化協会の事業紹介、文化関係者の活動紹介、県内のイベント情報等

【発 行】毎月1回/5, 000部

【配布先】友の会会員、文化会館、美術館、博物館等の文化施設、市町文化担当課ほか

### (2) 文化情報の場の提供

ひょうごアーティストサロンに隣接する兵庫県民会館1F特別展示室を活用し、協会事業の紹介や、県内の芸術文化活動などの情報発信を強化する。

### (3) 文化情報の提供

兵庫県民会館に文化情報紙、県内施設等の催物案内チラシなどを配架し、多彩な文化情報を提供する。

### (4) ホームページの運営

協会概要や本部事業の情報提供のみならず、芸術文化センター、ピッコロシアター、兵庫県民会館、原田の森ギャラリー、横尾忠則現代美術館の各ホームページにリンクし、各施設の公演、展覧会事業等を幅広く紹介する。また、2025年大阪・関西万博に向けたホームページの多言語化対応により、海外や在留外国人への情報提供にも取り組む。

(公財) 兵庫県芸術文化協会 (<https://hyogo-arts.or.jp>)

【内 容】・協会の概要

- ・協会主催事業等の案内
- ・管理施設の案内

### (5) その他多面的な広報活動

#### ① SNSの運営

YouTubeチャンネルで動画配信をするほか、X(旧Twitter)、Facebook、Instagramを活用して、情報発信を強化する。

#### ② マスメディアによる情報提供の強化

テレビ、ラジオ、新聞等への記者発表、資料配布など

#### ③ 県広報媒体の活用

兵庫県広報紙「県民だよりひょうご」、サンテレビ県民情報番組「ひょうご発信！」兵庫県広報公聴課Facebook「はばタンなび」等

#### ④ 県内文化施設等多様なチャンネルを活用した情報提供

兵庫県生活文化大学を共催している県立美術館、県立歴史博物館、県立考古博物館等の施設と連携してPRを行うほか、県内の文化施設や図書館、各教育機関を通じて情報発信を行う。

## 〔県立美術館王子分館の管理・運営（概要）〕

### 1 原田の森ギャラリーの運営

#### （1）貸しギャラリーの適正な運営

プロ・アマチュア芸術家、芸術文化団体の作品発表の場として、また、県民がさまざまな芸術文化に触れ交流する場となるよう、ギャラリー運営会議の助言を得ながら、適正で効率的なギャラリー運営を図る。

#### （2）施設・設備の適切な管理

年間 10 万人以上の来場者が安全安心に利用できるよう、日常的な点検の実施、不良箇所への速やかな対処に努める。施設・設備の修繕についても県と協議のうえ、計画的に対応する。

### 2 横尾忠則現代美術館の管理・運営

#### （1）横尾作品を中心とした展覧会運営

令和 5 年度には、横尾氏から寄託作品 905 点の寄贈を受け入れた。昨年東京国立博物館で開催され話題を呼んだ「寒山百得」展の巡回のほか、亡き愛猫を描いた人気の「タマ」シリーズをとりあげる「レクイエム」展など、豊富なコレクションを活用して横尾作品の魅力を紹介する 3 つの展覧会を実施する。

- ① 横尾忠則 寒山百得 / 令和 6 年 5 月 25 日～8 月 25 日（80 日間）
- ② レクイエム 猫と肖像と一人の画家 / 令和 6 年 9 月 14 日～12 月 15 日（80 日間）
- ③ 横尾忠則の人生ゲーム / 令和 7 年 1 月 17 日～5 月 6 日（95 日間）

また、展覧会をより楽しめるよう、期間中に実施するギャラリートーク動画の YouTube 発信や 1 F オープンスタジオでの放映なども行う。

#### （2）アーカイブ資料の整理・公開

横尾氏が所蔵し、当館に受け入れているイラスト、デザイン原稿、書籍等を整理し、展覧会に活用するとともに、順次「アーカイブ資料リスト」として公開し、横尾芸術の研究等に活用する。（令和 6 年 1 月末現在 3,840 点）

#### （3）ひょうごプレミアム芸術デーの実施

県民が気軽に芸術文化に触れる機会を提供するため県が実施する「ひょうごプレミアム芸術デー」の一環として、次の取組を実施する。

- ① 無料開放 令和 6 年 7 月 9 日～15 日（7 日間）
- ② 「自由に話せる観覧日」の設定  
障がい者や子育て世代が気兼ねなく鑑賞できる日として、毎月第 2 日曜日に設定（無料開放期間中の設定に加え、毎月に拡充）
- ③ スペシャルライブの開催（横尾氏ゆかりの音楽家を起用予定）

#### （4）情報発信の強化・充実

横尾作品は世界的にも評価が高いことから、2025 大阪・関西万博に向けて海外からの誘客を促進するため、ホームページの多言語化や展覧会図録の英語併記など、国際広報の充実に努める。

## 〔県立美術館王子分館の管理・運営（詳細）〕

兵庫県立美術館王子分館の指定管理者として、横尾忠則現代美術館での展覧会、公開制作やコンサートなど各種催しを開催し、芸術文化に関する情報発信を行うとともに、原田の森ギャラリーでは、地域のプロ・アマチュア芸術家や県内芸術文化団体の発表の場としての役割を果たせるよう管理・運営に努める。

【所在地】 神戸市灘区原田通3丁目8番30号

【施設】 〈原田の森ギャラリー〉本館（1・2階展示室、収蔵庫）、  
東館（1・2階展示室、収蔵庫地下1階・地下2階）、  
会議室（2室）、講義室等（3室）

〈横尾忠則現代美術館〉展示室（2・3階）、  
アーカイブルーム、コレクションギャラリー、  
展望施設（4階）、  
オープンスタジオ、ミュージアムショップ、  
インフォメーション（1階）、収蔵庫（地下1階）

〈喫茶棟〉

〈附属駐車場〉31台（時間貸し）

### 1 原田の森ギャラリーの管理・運営

#### （1）貸しギャラリー等の実施

当施設は、公立美術館としては全国最大規模のギャラリーを有し、明るく開放的かつ快適な空間の展示室が利用者から大変好評を得、高い利用率を保っている。

会議室では絵画教室に加えコンサート等、多様な創作・発表の場として提供し、芸術活動の拠点として幅広く活用されるよう施設の貸出しを行う。

また、施設の開館から50年以上経過し、老朽化が進むなか、来館者へ安全安心な環境を提供するため、必要な修繕等については県と協議しつつ、施設・設備を常に良好な状態に維持するよう努める。

#### （2）ギャラリー運営会議の実施

広く公平・適正な利用を推進するとともに、効率的・計画的なギャラリー運営の円滑化を図るため、利用団体代表者を含む運営委員からの助言・提言を得るギャラリー運営会議を実施する。

#### （3）情報の提供・広報

##### ① ホームページの運営（<https://hyogo-arts.or.jp/harada>）

【内容】施設概要、展覧会情報、利用案内、空室情報 等

##### ② SNSの運用（フェイスブック、ツイッター、インスタグラム）

【内容】即時性のある展覧会情報、イベント情報 等

##### ③ 美術情報の提供

【内容】1階フロアに展覧会案内ハガキ、パンフレットを見やすく配置し、来館者に情報サービスの提供を行う。またJR灘駅をはじめ近隣施設へのスケジュール掲示など、地域と連携しながら利用者増に努める。

##### ④ 障害者アート作品の常設展示

【内容】全国的にも珍しい、障害のある方々の芸術作品等の発表、鑑賞機会の拡大を目的とした「兵庫県障害者アートギャラリー（常設展示室）」を館内に設け、2～3カ月毎に作品を入れ替えて展示を行う。

## 2 横尾忠則現代美術館の管理・運営

令和5年度には長年の懸案であった横尾氏からの寄託作品905点の寄贈が実現し、世界最大の横尾作品のコレクションを有する館となった。この豊富な作品コレクションを生かして、横尾忠則氏の優れた作品等を広く県民に鑑賞する機会を提供する。

『横尾芸術の一大拠点』として、企画に即した展覧会関連事業、オープンスタジオコンサート、パフォーマンスのほか、コロナ禍において定着した動画配信等による情報発信も含めて、多様な表現手段を用いた美術館広報を展開し、若い世代をはじめとした新たな来客層への訴求にもつながる魅力を、当館らしく発信していく。

### (1) 横尾作品を中心とした展覧会の開催

展覧会名	第1期企画展	横尾忠則 寒山百得
会 期	令和6年5月25日(土)～8月25日(日) 80日間(於:2・3・4F展示室)	
内 容	2019年より横尾が興味を持ち、繰り返し描いてきた寒山拾得シリーズの最新の成果を紹介する展覧会。2023年秋に東京国立博物館で開催されて好評だった展覧会を巡回させるものであり、当館では2階・3階で102点の新作を、4階で横尾による寒山拾得シリーズの初めの1点及び東京国立博物館所蔵の他作家による寒山拾得作品をパネルにして合わせて展示する予定である。	
共 催	読売新聞社	
関連事業	講演会、キュレーターズトーク、スペシャルライブ等	

展覧会名	第2期企画展	レクイエム 猫と肖像と一人の画家
会 期	令和6年9月14日(土)～12月15日(日) 80日間(於:2・3F展示室)	
内 容	亡き愛猫タマを偲んで描き続けた「タマ、帰っておいで」シリーズ、三島由紀夫や柴田錬三郎など交流のあった人々にまつわる作品や肖像を中心に、彼岸へ旅立った者たちへ向けた横尾の視点を絵画と資料で振り返る。	
共 催	(調整中)	
関連事業	キュレーターズトーク等	
同時開催	YOKOO TADANORI COLLECTION GALLERY 2024 Part1 〔同時開催の「レクイエム 猫と肖像と一人の画家」展と連動し、アンディ・ウォーホルを特集。ウォーホルにまつわる横尾の連作「A.W.Mandala」とあわせて展示する。〕	

展覧会名	第3期企画展	横尾忠則の人生ゲーム
会 期	令和7年1月17日(金)～5月6日(火・祝) 95日間(於:2・3F展示室)	
内 容	親しみやすい入門編的な展覧会。展覧会場を横尾忠則の人生をモチーフにしたゲーム盤に見立てる。会場に点在するジャンボ・ルーレットを使って、実際に遊びながら作品を見て回ることもできる。なすがままに運命を受け入れてきた横尾の生き方のメタファーであると同時に、楽しく遊びながら横尾芸術に親しんでもらう試みでもある。	
関連事業	キュレーターズトーク等	
同時開催	YOKOO TADANORI COLLECTION GALLERY 2024 Part2(内容調整中)	

## (2) 貴重なアーカイブ資料の整理・公開・展示

アーカイブでは、横尾氏のもとに保管されていたイラストやポスター、デザイン原稿をはじめ、蔵書・関連記事の掲載誌、レコード収集品など多岐にわたる資料を受け入れ、順次、整理・公開していく。

資料整理をより円滑に行うため、博学連携として甲南大学、甲南女子大学、神戸芸術工科大学等からの博物館実習生を受け入れる。

### ① 整理

整理済み資料に関する情報は、横尾忠則現代美術館 HP にて「整理済みアーカイブ資料リスト」として一覧を公開。

※登録済の資料：3,840点(令和6年1月末)

### ② 公開

整理済み資料については閲覧に供する。(無料、要予約、個人への貸出不可)

### ③ 展示

企画展等での展示に供している。

## (3) 作品・資料等の保存・修復活動

収蔵作品及び資料の劣化要因(温湿度、光、空気汚染物質、有害生物など)を制御、排除することで、館内環境を良好に保つよう努める。保存・修復に際しては、作品の現状維持修復を原則とし、オリジナルの価値を損なわないように配慮しながら、展示・他館貸し出し等に応じ、修復措置を行っている。(5年度：213件実施)

## (4) ひょうごプレミアム芸術デーの実施

県民の芸術文化に触れる機会を充実するため、県立芸術文化施設の無料開放等を行う県民プレミアム芸術デーを実施する。

① 無料開放 令和6年7月9日(火)～15日(月・祝)

② 自由に話せる観覧日 障がい者や子育て世帯の来館促進のため毎月第2日曜日に設定

③ 著名アーティストによるスペシャルライブ ほか

## (5) オープンスタジオ等を活用した多彩なイベントの実施

### ① 企画展関連事業

横尾氏と密接な関係のある著名人とのトークショーやライブ、キュレーターズトーク、ワークショップ、講演会等を開催する。

### ② オープンスタジオコンサート

協会本部のアーティストサロン等の協力を得て、県内を中心に活動する優れた音楽家によるコンサートやアーティストによるパフォーマンスを実施し、美術館のにぎわいづくりと新たなファン層の拡大をめざす。

### ③ YouTubeでの動画配信事業

公式YouTubeチャンネル(令和2年8月開設)において、ギャラリートーク(字幕：日・英)のほか、展示室の横尾作品をバックにしたパフォーマンスなど、館の魅力を発信する映像の制作・配信等を行っていく。

## (6) 連携によるにぎわいづくり

### ① 地域との連携

#### (ア) 地域住民・商店街等との連携

展覧会ポスター・チラシ配布、地域イベント(六甲ファミリーまつり、美かえるカラフルマルシェ)でのPRを実施

#### (イ) 周辺施設との連携(神戸文学館、灘区民ホール、王子動物園、BBプラザ美術館等)

相互のポスター・チラシの掲示・設置、開会式への招待等を実施

### ② 学校との連携

- ・芸術系大学を中心に団体受け入れ、学芸員の案内を実施
- ・関西学院大学、神戸松陰女子学院大学、兵庫教育大学との提携
- ・学芸員によるアウトリーチ活動（出前講座、オンライン授業等）

### ③ 他館との連携

#### (ア) 神戸市内美術館で構成する「KOBE MUSEUM LINK」との連携

共同ホームページの作成、共同イベントの実施（スタンプラリーによる広報等）

#### (イ) ミュージアムロードを構成する主要文化施設との連携

県立美術館本館、原田の森ギャラリーはもとより、近接する神戸文学館や神戸市立王子動物園、ミュージアムロードの中間点に位置するBBプラザ美術館等と連携し、ポスターの掲示やチラシを設置、県立美術館とは半券提示での割引制度を設け、相互に協力している。

#### (ウ) 国内外の美術館等

2025大阪・関西万博に向けて、瀬戸内国際芸術祭美術館プロジェクトに参画するほか、豊島横尾館、西脇市岡之山美術館、東京国立博物館、東京都現代美術館をはじめとする国内外美術館等との広報連携を推進していく。

## (7) 情報の提供・広報

マスメディアや交通広告はじめ、インターネットの活用など様々な媒体を通じて広く広報を実施。また横尾氏の国内外での知名度・評価も高いことから、全国誌への掲載の働きかけや、ホームページの多言語化や展覧会図録の英語併記など、国際広報にも努める。

### ① 県庁記者クラブでの資料配布、記者説明会の開催

### ② テレビ・ラジオのニュース・特集番組、新聞等マスメディアの活用

### ③ 芸術・旅行分野の全国紙への掲載働きかけ

### ④ インターネット等による当館情報発信

ホームページ（多言語対応）、YouTube チャンネル、X（旧ツイッター）、フェイスブック、メールマガジン、インスタグラム、SNS による広告配信等

### ⑤ 交通広告等による広報

阪急・山陽電鉄への広報、三宮センター街への看板掲出、JAF との提携・割引を実施

### ⑥ 横尾氏本人によるPR

テレビ出演、雑誌対談、X（34.5 万フォロワー）などのほか、横尾氏のコラボ・ブランド（ISSEY MIYAKE、BEAMS、モンマルトルニューヨーク等）を当館広報に活用

### ⑦ キャッシュレスへの対応

Sonoligo、楽天チケット等での館外チケットの販売、クレジットカード等によるキャッシュレスチケット販売の実施

## 3 駐車場等の運営（収益事業）

来館者の利便性に配慮した有料駐車場の運営を行う。

（時間貸）収容台数 31 台

## 4 その他、施設利用者の利便向上への取り組み（収益事業）

- ・カフェスペースの貸出（横尾忠則現代美術館）
- ・関連グッズのショップ設置・運営（横尾忠則現代美術館）
- ・飲料自動販売機の設置

## 〔兵庫県民会館の管理・運営（収益事業）〕

兵庫県民会館については、現在、県が行っている耐震診断（時刻歴応答解析）の結果によっては、早ければ令和6年10月以降に利用停止となることを踏まえ、県からの要請に応じて、令和6年度1年間の指定管理を行う。

【所在地】 神戸市中央区下山手通4丁目16番3号

【施設】

- ・パルテホール（11階）（定員 150人）
- ・けんみんホール（9階）（客席数360席）
- ・会議室（18室）
- ・集会室（3室）
- ・宴会室（3室）
- ・団体事務室（22団体）
- ・時間貸駐車場（36台）
- ・月極車庫（44台）
- ・営業店舗（2業者）
- ・兵庫県民アートギャラリー
- ・アーティストサロン

1階 特別展示室（78㎡）  
2階 大展示室（346㎡）、中展示室（176㎡）、小展示室（50㎡）

### 1 利用者の安全・安心や利便性、サービス水準の維持

安全・安心に利用できる体制を構築するとともに、ホール・展示室等の事前申込み方式、施設利用料のキャッシュレス決済、オンライン会議等のためのネット環境の運用及び保守に取り組む。

### 2 施設・設備の適切な維持管理

老朽化した建物、設備を適切に維持管理するための修繕工事や定期点検・メンテナンスを適時・適切に実施する。

### 3 駐車場等の運営

来館者の利便性に配慮した有料駐車場の運営を行う。

（時間貸）収容台数 36台 （月極）収容台数 44台

### 4 施設利用者の利便向上への取組

- ・喫茶等スペースの貸出
- ・飲料自動販売機の設置
- ・図書頒布販売、他主催入場券等の受託販売

### 5 耐震診断への協力

耐震診断（時刻歴応答解析）が円滑に実施されるよう県に協力するとともに、診断結果が判明した後の対応について、利用者に混乱が生じないように、適宜、県と協議する。

診断結果	令和6年度		令和7年度	令和8年度
倒壊に至る可能性がある	通常利用 R6.4～9	貸館利用停止 R6.10～ 入居団体移転 ～R6.12末	全館全体利用停止 (一時閉館)	全館全体利用停止 (一時閉館)
倒壊しにくい	通常利用		貸館利用停止 R8.1～	
倒壊しない			入居団体移転 ～R7.12末	

## 6 県民会館パネル展の開催

阪神・淡路大震災から30年目となることを踏まえ、震災時の状況を含めて、開館から半世紀の歩みを振り返るパネル展を開催する。

(1) 日 時 8月24日(土)～9月1日(日)

(2) 場 所 兵庫県民会館 1F 特別展示室

(3) 内 容

- ・兵庫県民会館の被害状況写
- ・結婚式場、土産店、食堂等設置時期の写真
- ・兵庫県民会館の外観・館内各所の写真
- ・機関紙「県民かいかん」、機関紙「ひょうご文化」
- ・兵庫県民会館にまつわる新聞記事 等